

# 弓削通信

2005・4

発行者：平山和昭  
〒794-2509  
愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

◆「弓削通信」を復刊します。  
弓削地区(含魚島)のみの配布。毎月十五日、新聞折り込み。新聞購読して無い方でご入りの方、「一報ください」。

## 合併上島町の新しい町づくりの中で

### ■弓削大橋と弓削通信

■弓削大橋と弓削通信  
昨今話題の前国土計画(株)現(株)コクドは、当初より国内リゾート開発の草分けとして一等最初に一等おいしい思いをした企業であろう。

西部開拓史ならぬ西武グループをはじめとする日本列島改造論者のニッポンの自然を食い物にした歴史は、わずか半世紀にも満たぬうちにその付けを支払う羽目とはなった。

そのバブル経済終末期の一九九一年、弓削島と佐島を結ぶ弓削大橋の着工が成り、投稿紙として「弓削通信」も刊行された。

創刊号「弓削通信」は、梅雨の雨に煙る大橋の橋脚を巻頭言の写真として掲載した。

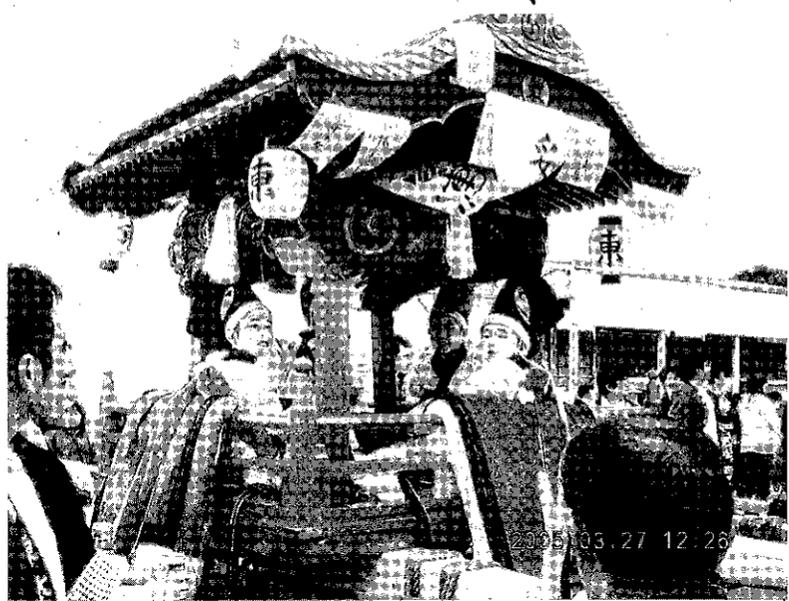
ゴルフ場、マリーナ、ホテルを核としたリゾート開発を断行し、そのあがり町財政の健全化、過疎化の歯止め、少子化の歯止めなど、活力を無くした弱

小自治体の起死回生をと、愛媛リゾート開発構想が華々しく打ち上げられていた。

旗を振った行政。それにのった町内各種団体や議会。みな芋蔓のようにひとつの根につながった現象だった。

もしかしたらバブル経済が破綻しても、ときの行政に確たる信念と強引さが備わっておれば、弓削島や佐島にゴルフ場が作られていたかもしれない、あるいは久司山のとつべんにリゾートホテルが・・・。

いまは上島町となった旧岩城村にうち捨てられた白亜のリゾートホテルが仮定



3月21日開催された上島町開町記念イベントにて。各地区から14台集った壇尻のうち岩城地区の壇尻

の結果も含め、反面教師の役目を引き受けてくれることである。

### ■大合併で始末できたか

昔も今も、地方に住む人々は

豊かな中央に比べ、見劣りのする自分たちの現状に濃淡さまざまに不満とあせりを感じてきた。その心情が、資金力、政治力の潤沢な大手建設業者のからむ「町おこし・村おこし」に夢を託させたのかもしれない。行政の責任者も、悪かれと、確信的にその流れに身を寄せたわけでもないだろう。

だがしかし、だ。ひとつの計画に莫大な調査費用、つまり公費を投入しながら、事がとん挫に終わった時に「失敗しました。すみません。責任とってやめます」とは、誰も言わなかった。コクドの親分然り。旧弓削町の親分然り。

納税者である町民も、責任を問う声を上げはしなかった。

はつきり言えば、国の無策の尻ぬぐいとして登場した「平成の地方自治体大合併」。長い歴史に裏打ちされた個性を無視した数あわせに等しいそれは、むしろ住民から自立心を奪う方向に作用しはしないだろうか。

我が町のことを棚に上げお隣のことを言うのも何だが、私たち町民が共通の経済圏として当初越県合併を希望していた隣島因島市が、今になって恥も外聞もなく、あれよあれよという間に本土尾道市との吸収合併の道を選んだことにそれを見る心地がする。

### ■生名橋がつなぐもの

ひとつの波乱だったともいえる十数年を経て上島四島が合併し、半年たった。が、いまだこの町の指導者は、具体的に何をもってしてこの町の命脈をつなごうとしているのかを示せないでいる。無理もない。コンサルタント会社を作った総花的町作り案をなぞる有様では、つまりはバブル期のそれとならかわることはないから。

なにが大切か。新しい知識の取得なくして新しい発想は困難と知ること。人々の心を活性化すること。

いま弓削大橋のつづき佐島・生名島をつなぐ生名橋の着工がなされ、関連工事が始まった。

休眠して五年になんなんとする「弓削通信」。これを期にもういちど目覚め、過ぎ去った十年間も含め、なし得なかつたひとつのテーマを追っかけてみたい。

毎月十五日発行。読者諸君におかれましては、よろしくご鞭撻賜りたく。

(発行責任者・平山和昭)

## 今はおがら...

今春、一九七〇年から世紀を越えた本年二〇〇五年まで、実に三五年もの歴史を刻んできた弓削幼稚園が消滅する。

私はその弓削幼稚園の第一期生である。

思えば弓削幼稚園が実際に始動した一九七〇年四月の時点で、まだ園舎が完成しておらず、弓削小の旧校舎及び児童館を間借りしてのスタートで、当時は幼稚園ながら三つもクラスがあり実に賑やかだったものだ。

やがて落成したばかりの真新しい園舎に移り本格始動となったわけだが、そんな我々が卒園して僅か一五年後の一九八六年、早くもその園舎の歴史には強引に幕が下ろされ、無残に砕かれて泥の下に沈んだのだ。

どうして小学校の建て替えに伊勢山を削るなどの大規模造成が必要だったのか。あれにより、まだまだ新しい幼稚園園舎は元より、児童館、様々な木々、そして何よ

## 弓削幼稚園消滅に思う

2005年3月 フェリーてんりゅう



りも卒業生たちの思い出の多くが泥の下に沈んだのだ。未だに納得できない出来事である。こうして園舎を失った幼稚園が移った先が、現在の旧高浜保育園の園舎である。

保育園、幼稚園、小、中、高校

と、全てを地元弓削で通った私たちが、それらの建物はことごとく建て替えが進み、私を通ったもので残っているのは、現在の幼稚園と旧高浜保育園園舎だけになってしまった。

幼い日々を過ごした懐かしい教室が存在する最後の建物。しかしこれさえも、今春の幼稚園廃止後、建物老朽化による危険増加という理由で早々の取り壊しが決定されていると聞く。

今をせめて、建物が取り壊されるその日まで、二次元の世界にその姿を留めるべくシャッターを切ってみようと思っている。

### 編集人より

フェリーてんりゅうさんの記事が書かれて後、上弓削高浜の弓削幼稚園舎は解体をまぬがれ、民間高齢者福祉施設「ぶくぶくの会」が再利用することになりました。夏にはリニューアルオープンの予定で改装工事が進んでいます。

### 第10回 因島自由大学

6月4日(土) 午後2時~4時  
因島市芸予文化情報センター

講師・俵 萌子 先生

学費・2000円

問合せ(因島)永宗 0845-22-5792

ウオン・ウインツァン ピアノコンサート  
WONG WING TSAN 黄永燦  
現在、教育テレビ「こころの時代」  
テーマ放送中。  
最新アルバムに「Doh Yoh vol.3」

5月8日(日) 瀬戸田ベルカントホール 開演14:00  
前売2500円・当日3000円 全席自由  
前売取扱い(因島)幡地 0845-24-2384

四島が合併して上島町になったことをきっかけとして映画「ホーム・スイートホーム2」の上映会を計画しました。同じ町になったとはいえ知らない土地でやることはとても難しいことでした。

「おまえは何者だ」という眼で見られました。突然訪ねて行ってセンターを借りたいなどと言いたのですから当然かもしれません。また往き来に船の時間が障害になったのも島だから仕方ありません。

町内にはたまたま同じ苗字の議員さんがいらっしゃるの、ただの主婦がやっていること以上のかんぐりかたをされたり、はじめての島外活動は、なかなか大変です。

上映会が近づくにつれ、無事終わってくれただけを願っていました。

いざやってみておもしろかったのは地域差。たとえば観客の集まり方一つとっても、生名では三十分位前からどんどん入り始め、岩城では上映十分ぐらい前でも二十名ほど。心配していたら間際になって商工会婦人部の皆さんが桜まつりの準備を中断して大勢来てくださいました。弓削では一時間前からいい席を

### 三地区での上映会を終えて



求めて来られる方がかなりいて、上映二十分前には満席。

映画終了後はどの会場でも観客の皆さん方が片づけを手伝ってくださり、予定時間の半分もかかりませんでした。

ハプニングもいろいろありましたが、終わりよければすべてよし。

疲れましたが満足のいく日々でした。これらを通して学んだことは、お互いを知ることの大切さ。

ご協力ありがとうございました。

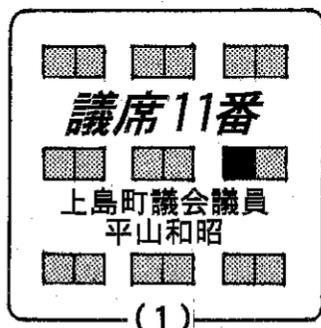
「ホーム・スイートホーム2」を観る会代表  
前田典子(弓削・久司浦)

合併して議会が変わったかとよく聞かれる。合併しても各地域から選出されてきた新議員に地域エゴはあるのかな?というところらしい。

### 話題になっっている上島町ケーブルテレビの議会中継。次の課題は全審議の実況放映。

今年三月定例議会における「上島町下水道、浄化槽(使用料)条例にまつわる一連の攻防は、そういう意味で理事者、議員にとっていい経緯になった。

発端は、旧町村まちまちだった下水道使用料および水洗便所改造等の助成(金)規則を一本化しようとするもの。本筋は合併協議会で確認されているので問題ないのだが、個々の確認事項の中で「下水道使用料は新町において調整する。水洗便所改造等助成金と受益者負担金に関しては事業完了後調整する」と



なくし助成金を十万円限度とし、下水道使用料は上水使用量を基準に算出することに統一する。試算による使用料は、たとえば二人家庭の場合、弓削二一円高、生名四四一円安、岩城七三

いう調整内容が文書で残されていたのでややこしくなった。下水道工事は完了した魚島以外の各地区で進行中である。かいつまんで言うと、旧弓削町では受益者負担金はあるが助成金でそれを半減状態にし、生名は負担金はないが助成金もなく、岩城は負担金はないが助成金を十五万円限度。魚島は実施期間二年で二十万円限度の助成をおこなう、となっていた。新案は、各地区とも負担金を

六円安、魚島一三四円高となる。理事者(町長)の説明では、岩城地区で発生する助成金の五万円減は、使用料金が安くなるので二人家庭の場合、およそ五年で元がとれる。それで理解して欲しいというものであった。これに対して岩城住民からは、助成金額は旧村と村民の約束事。助成金と使用料とは別のもの。差額を使用料が安くなることで帳消しにしたいというのは納得できない。生名はもともとなかった助成金がもらえ、料金も安くなるのに比べ岩城はどうか。町長の日頃言っている公平主義にもとめるのではないか、という意見がだされていた。議案は賛成多数で原案可決。採決にさいし岩城選出議員二名と平山が反対討論をし、生名選出議員二名と魚島選出議員一名が賛成討論をした。

これらを地域エゴとみるかどうかは読者の判断にゆだねるとして、ほかに、定例議会一般質問に半数以上の議員が立ち、ケーブルテレビでそれらが関心をもって視聴されるようになったことは「変わったこと」に数えられるだろう。



チン説百人一首・12.  
手向山の巻  
青木喜代子

この度は幣も取りあへず手向山紅葉の錦神のまにまに  
子どもが小学生の頃、親子で競技カルタを習った。競技なので早く覚えて人より早く取らなくては意味がない。この歌は「もみじまんじゅう」と覚えた。読み手が「この」と発するとすぐ「もみじまんじゅう」と得意気に札を取った。作者は千年も経ってコマースヤルに使われ、カルタ会では思い切り札をたたかれ飛ばされようとは夢にも思わなかつたろう。きつと空の上でびっくりりされているだろうな。

誰も自分の死後のことなどわかりはしない。その死後をこつそり見てみたいと願っている人がいる。

北海道の花の脚本家の生前葬の招待状が届いた。  
故人の、「花より現金」という遺言に従いまして、供花は一切ご遠慮申し上げます。当日会場では香典のみ受け付けます。

故人予定者は、葬式の一部始終を天井裏からのぞいてみたいと常に口にしていた。それを知った心やさしい人たちが是非故人にしようとして、わくわくしながら企画した。私もカレンダーに印をつけ、葬儀を心待ちにしていた。が、葬儀直前に故人予定者の体調が突然悪くなり、「本当になるとまずい。」と、急ぎよ盛大なパーティーに変更。

当日、故人予定者は元氣な姿で壇上に立ち「本当に調子悪くなつてびっくりりました」と、申し訳なさそうに挨拶された。「でも僕が死んだら、その後ごがどうなるのかとても気になるのです」「ご」とはあの富良野野塾のこと。故人になりそこなつたのは倉本聰氏。  
先生、体調を万全に整えて、早いうちに生前葬を。香典を用意して参列いたします。

(著者紹介)  
因島市在・倉本聰氏率いる劇団富良野塾の熱烈サポーター。因島での富良野塾公演を手がけてきた。

# 弓削通信

2005・5

発行者：平山和昭  
〒794-2509  
愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

## eメール往来

【大学のあるまちづくり】

差出人： <Abcd@m2.ocv.ne.jp>  
宛先：平山 和昭 <yugeru@gold.ocn.ne.jp>  
送信日時：2004年12月2日 木曜日 10:14 PM  
件名：大学千夜一夜

最近はラッパの練習を割とまめにやっています。  
今は学生だった頃と違って、マイナスインのCD付の譜面があって、そこそこのプロの伴奏付の練習が出来るので一人でやっても飽きないし、上達も早くなると思います。渡辺貞夫などのようなトップのプロミュージシャンが40年近く前、初めてアメリカのパークリー音楽大学院などに行って勉強してきた成果が、日本でも普通にこなれてきて、今は分かりやすい良い教則本が沢山あるし、若い人は幸せです。いまやパークリー（ボストン）、ジュリアード（ニューヨーク）など、プロを目指す人が普通に留学するようになりました。

渡辺貞夫が帰国後出した本は分かりにくかった。多分彼も音楽的能力があったので、いろいろな知識を詰め込んで帰ってきて、それを吐き出しただけなので、人にわかりやすく体系だって教えるまでこなれていなかった。やったのは後の世代。明治以降の、日本の科学や文化の成熟過程そのままということでしょうか。

自治体の業務で、費用を受益者から徴収する事業はこれからは基本的に民間、NPO等に任せ、そのサービス水準とか公平性のチェックだけを行うべきだと思います。その事業の中で、全部または一部を負担出来ないものについてのみ税金で事業を行うべきです。その大きなものに、防災が残ると思います。地方自治体で少ない人材と資金の中で、自然災害を含む災害のリスク管理、対策、事後対応をどうするか、要求されるレベルは個人一人当たりとしては、大都市の自治体職員より高くなると思われます。プロを養成しなければなりません。

自治体職員教育用の消防大学校、建設大学校よりさらに高レベルの考え方の新しい教育（法律、経済、経営の知識が必要になる）が求められます。

（筆者はk建設技術部長・弓削出身）

★いざ鳥らしさをとりもどさん！「アサリの掘れる浜」復活にむけ、EM菌団子を投入する弓削引野地区のひとたち



## 地球の再生 小さな一歩

## 夢の夕まぐ スローライフ

筆者などはUターンして島に帰ってくるとき、いよいよ食えなくなれば浜で貝でも掘ってしのげるさ・・・と、半分本気で思ったりしていた。夢のない話だが、別の見方をすれば、ささやかながら夢のある状態でもあった。  
島の浜に貝が棲まなくなつたのには理由がある。件の会に集う人々はおしなべて若いとは言えぬ世代だ。貝がいなくなつた理由を百も承知だ。その理由を念頭においての入会であり活動であるのなら、こんな夢のある話もまたとない。  
島では毎日潮の干満がある。

開発や利便性の追求が今日も日本のいたるところで反作用を引き起こしている。うごめき始めたこの小さな活動が、真のスローライフに結実することを願って止まない。

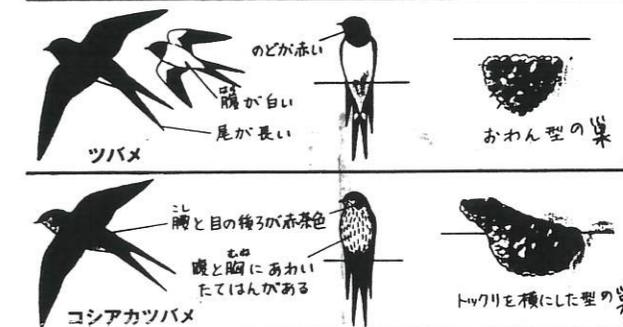
夢のない人生を送るほどさびしいことはない。  
子どもたちには夢を持ってハツパかけるのに、肝心のおとなに夢がなければ話にもならない。  
子ども達にはもちろんのこと、子育て真っ最中の親や、祖父母には、少なからぬ夢がある・・・にちがいない。  
リッパなオトナになり世に役立ちたいという夢。我が子や孫は、夢を実現するだろう、してほしいという夢。  
その子ども達も、だんだんと大人の背をみて育つうちに、朝顔の陽の光に凋落するように、夢が色あせ遠のいてゆくのなら、これまたこんなさびしいことはない。

夢と希望は一体のものだ。そう考えると今更夢はないというオトナの多いなか、私たちの周りには夢の夕まぐだらけではなからうか。  
◆◆◆  
今年はじめ「ゆげ夢ランドの会」というボランティア団体が発足した。EM菌（有用微生物）を使つての島の環境浄化をしよう、という団体だ。すでに二百数十名の入会者があるという。  
具体的目標のひとつとして

アサリが出る浜をとりもどそう、というのがある。島にのつての自然の恵みのシンボルとも言える「潮干狩りの出来るなぎさ」の再生だ。

限られた渚とはいえ大海につながる。壮大な取り組みであり、価値ある取り組みであるといえる。

## 鳥見にゆこうよ!



## 「弓削野鳥の会」 会員募集

「弓削野鳥の会」では随時会員募集をしています。毎月1回の定例観察会の外、情報発信（ホームページ、<http://www15.plala.or.jp/hot-bob/>）、機関誌ミサゴ便り発行、写真展示会、他の活動  
年会費2000円、家族会費500円  
5月定例会：29日。高井神島行き  
Am 8時下弓削港集合。雨天中止  
問い合わせ：77-2823（会長・松本）  
77-3607（事務局・村上）



# 弓削通信

2005-6 No.94

発行者：平山和昭  
〒794-2509  
愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

## 弓削島・塩の里整備計画

合併前の弓削町に於いて「弓削島塩の里整備計画」というものがあつたことを記憶されているだろうか。

弓削鎌田地区の町営グラウンドと、そこから海岸に至る一帯を二億二千万円余をかけて体験型塩田として整備する、というものだ。

「地域資源を活かしたまちづくり。誇るべき歴史文化を地域に残す。地域の智慧と汗で整備する。地域の活力の創出、スローライフ・スローフードを基に都市と人々との交流・対流を促進し、地域再生の礎となる「一流の田舎」を目指す」が目的となつている。

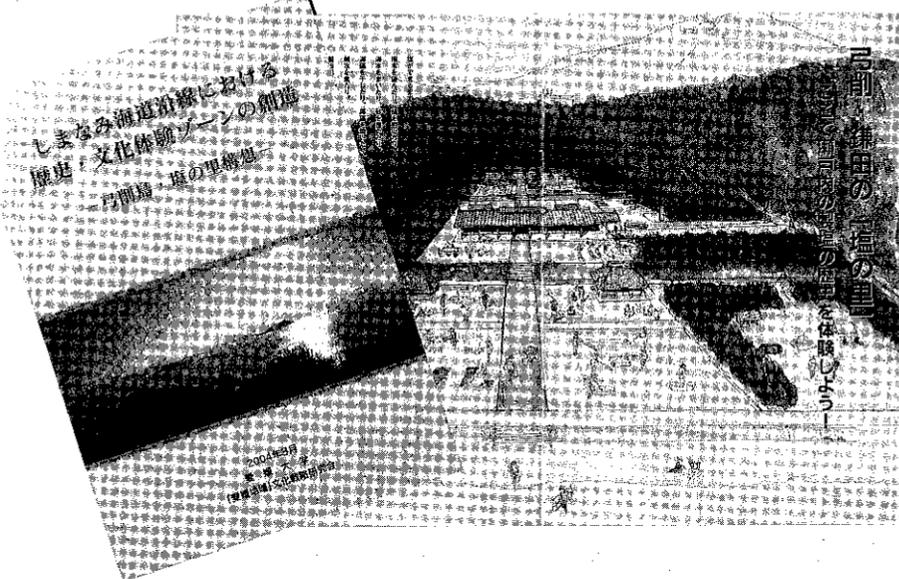
財源は、元氣な地域づくり交付金一・一億円、過疎債一億円、一般財源一千万円。

### ★大学にもご都合が

平成一五年三月、愛媛大学法文学部「愛媛地域」文化戦略研究会による『しまなみ海道沿線における歴史・文化体験ゾーン』の創造」という報告書が出た。

「伯方の塩」で名が通つている伯方町での整備を念頭に置いたらしい冊子であるが、同年十月、大学と元弓削町長木下良一氏とのあいだでこの事業を弓削で展開し双方最大限の協力、努力をするとの合意があつた。翌一六年三月に前記研究会が発行した同一テーマの『弓削島・塩の里構想』には「弓削町から提案内容やプランを全面的に取り入れ

## 地域再生の礎になれるか「塩田」、ほんきで一流の田舎をめざすのか



2004年3月 愛媛大学「愛媛地域」文化戦略研究会発行の報告書

協議会が開かれた。一般町民への説明はあとまわしで走り始めたのである。一六年六月には、弓削町議会全員協議会で「弓削島塩の里構想」を報告。七月、愛媛県に補助要望書を提出するも、県から三村(岩城・生名・魚島)首長の合意を取るよう指示をうけ、二村の合意は得られたが(旧)岩城村長が、

協議会が開かれた。一般町民への説明はあとまわしで走り始めたのである。一六年六月には、弓削町議会全員協議会で「弓削島塩の里構想」を報告。七月、愛媛県に補助要望書を提出するも、県から三村(岩城・生名・魚島)首長の合意を取るよう指示をうけ、二村の合意は得られたが(旧)岩城村長が、

この六月一日、推進協議会第五回会合がもたれた。合併を挟んで相当期間ブランクがあるのを経過報告と協議会の今後を決めるのだという。会議の傍聴を願ひ出たら許されたので参考のため傍聴した。傍聴人は議員二名、一般二名。二〇名の協議会委員のうち欠席者が七名。行政の首脳も出席予定だったが、不在。片方の主役、愛媛大学の担当教授、やることになれば仕事を請けもつであろう工務店の社長、備品の納入役にあたるかもしれない文具店の社長ら、みなメンバーだが欠席。もちろん優先する用事がほかにあつたのだろう。

「先日面談した大学側の、この事業へかける熱意は強固なものがあつた」とする木下良一会長の報告も、それを裏付ける大物が欠席では「又聞き」のこになり「行政は本気なのか」という委員の質問にも誰も答えられない。

### ★覚悟のほどは？

新町になつたからには今のままの推進協議会というわけにはいくまい。では次の推進協議会はどこから議論をはじめめるのか。時間の余裕は殆どない。

町には金銭的にはペイしない事業を続け得る体力はあるのか。理念と現実のギャップを埋めるため、行政職員も一般町民も、日照りの夏、寒さの冬、塩掻きに出動する覚悟があるのか？過去の協議会でどこまで議論が沸騰したのかはしらぬ。

大体からして、だががメンバーで、どういふ議論があつたのかさえ、殆どの町民は知らないのではないか？

### ★夢を持つならしたたかに

もとはといえば大学側の研究活動の延長線にある企画。パートナーとして弓削を選んでくれるのは嬉しい。協力するにやぶさかではない。だから大学には、当地に金看板の研究室を置くなど、決して逃げない保証を求め、したたかに町のメリットを追ってほしい。

推進協議委員も夢や希望を述べてオシマイじゃ無責任だ。それをどう実現するか提言できる自己研鑽がほしい。どのような施設を作るにせよ、関係するひとりひとりに無償の汗をかき気が無ければ「一流の田舎」など言葉のおそびにすぎないであろう。

(文責・平山和昭)

いんのしま  
7月3日(日)  
フリーマーケット  
11:00~14:00  
中庄すば一く(ゲートボール場)  
雨天決行  
Come On!  
1000  
500  
500

出店募集中(1店舗2m×2m 1,000円)  
★子ども市同時開催(小学生以上高校生までは出店料無料)  
子ども服 おもちゃ、食器、手芸品、本、CD、  
おいしい焼きそば……などなど何かがあるかお楽しみ  
“ワイガやねっと”協力で新鮮野菜も出店予定!!

◆お問い合わせ・出店申し込みは下記まで(ハガキかファックスで)  
【責任者、連絡先(子ども市の出店希望者は保護者の名前も)を明記して下さい】  
主催：フリーマーケット実行委員会(担当：糧地)  
〒722-2101 島田市大浜町731-2 TEL(Fax)24-2384

★各店の看板、敷物、釣り銭、袋などはそれぞれ準備して下さい。  
★当日の事故、トラブルなどについては責任を持ちかねますのでご了承下さい。  
\*\*\*\*\*

# 上島町CATV サービスの質と 「公平性」とは?



上島町ケーブルテレビ(CATV)による議会中継は、実況ナマ中継とはいかなくなつた。ナマ中継放送の恩恵が受けられない他の三地区(生名、岩城、魚島)に配慮し、公平性を保つため各支所に同時に配信出来るよう録画テープを用意しなければならなくなつたからだ。

上島町内でCATV局が整備されているのは弓削地区、魚島地区だけ。それぞれ局の方式も異なり、現時点ではリアルタイムでデータのやりとりはできない。

旧村時代にCATV整備に取り組まなかつた岩城地区、生名地区は、そのかわりに他のことの充実し心血をそそいできた。そういう状態での合併劇なので、さしあたりCATVの恩恵に

## 弓削公民館生涯学習講座

### 参加しませんか! 《古典文学を学ぶ講座》

『広報かみじま5月号』に弓削公民館生涯学習講座の受講生募集がでていた。「古典文学を学ぶ講座」でテキストは宇津保物語・他。講師は弓削商船高専の教官猪川優子氏とか。源氏や平家を読む会はよくあるのだから「うつほ物語」とはめずらしい。現存する我が国最古の長編物語というより、紫式部や清少納言が読みふけたと聞き、興味深々。どんな切り口の講座になるかは知るよしもないが、その専門家による滅多に遭遇できない講座にちがいない。開かれた高専を目指すひとつの実践の場に、町民の積極的な参加が期待されるところだろう。

(聴講申し込みは弓削中央公民館まで)



四地区全てにCATVが整備されるのは何年も先のこと。いつになるかわからない。つまり、その「いつになるかわからない時期」というものに公平性を合わせるのには、現在使用料を支払っている町民に「サービスの質的低下を容忍させる」ことになる。公平と言えるのだろうか。

軌道にのりかけた「上島町議会のナマ中継」を完全なものにするのが、CATVを持つ意義を未整備地区の人々にもアピールできるというものだ。

弓削地区での七一%という加入率も100%にもつていかねばならぬ。後発の地区なら当然100%の加入を期待する。

合併すればあらゆるサービスが均一に、との力学がはたらきがちだが、ことCATVに関しては不完全な均一サービスよりも、当面限られた地域だとしてもリアルタイムのニュースを配信しつづけ、局のレベルを高めてゆくことのほうが優先なのではないか。

(ご意見をおよせください)

## 「前号に寄せられたお便り」

EM菌による海の浄化の記事、向島の住田パン屋さんの近くの入り江も数年前から地域ぐるみで取り組んでおられ、成果をあげておられる様です。実際目に見えて海水が(入り江の海底が)きれいになったとか。でも住田さんに言わせると、もともとそこに無かったもの(EM菌)を投入して、一時的に効果があったとして、長期的には何か問題が起こるんじゃないかしら・・・と。

そうかもしれませんね。根本が変わるわけではないですね。(尾道市・林原さんより)

前、元首長、議長等の有識経験者の賢人会を組織してみたら如何ですか。

私は三重地区ニコニコ生活村のご意見番になってくれといわれています。亀の甲より年の功という理念です。先日福祉保険部長と1時間面談しましたが、きき耳を立ててくれました。(大分三重町・管井医師より)

▼「ねじりパン」の筆者紹介。中田ちぐささんは、ダンスの運転手からイベント企画まで、何でもやれるハンサムウーマン。松山市在住。小・幼、2児の母。

# ねじりパン (2)

中田ちぐさ

児童館で鉢植えを倒した自分の子どもを叱っていたら、「子どもが悪いんじゃないですよ。子どもは叱って育ててはだめですよ」と、保育指導員の方から善意の注意を受けた。

「ケガはなかったか?」

「あぶないから気をつけようね」って言うのが常識だそう。

食事中にコップを倒し、お茶をこぼした子どもには、

「大丈夫?濡れなかったか?」

「こんな所にコップを置いたお母さんが悪かったわね。コップはこっちに置こうね。でも○○ちゃんも気をつけてね」と言うのだそう。

大きな声では言えないが、こんなぬるま湯のような育て方をしているのは、何か悪いことをしても、それが悪意はなかったにせよ、「自分が悪い」のではなく、そこにそれがあるから、そういう状況だから、自分が悪いのではない、と反省というものをしなくなるのではないかと不安になる。



「怒る」のは感情。怒りの感情を子どもに向ける必要はないが、どういう状況で「怒る」ものか母親も自分の感情のまま「怒って」みせるのも大切だと思っ

「叱る」のは「さとす」こと。叱ることは、子どもにとって社会生活への「情報提供」という大きな役割を担っているのではないか。

「しつけ」もそうだが、学校で習えない「道徳」もあるはずだ。「子どもの虐待」が社会問題となっている。虐待としつけ、その線引きは難しい問題を孕んでいる。

感情にまけて「虐待」になつてしまふ母たち。「虐待」と言われる恐怖から「怒らない」「叱らない」「しつけない」でいる母たち。

私は今のモラルで言うところのダメな母親である。だがきちんと叱る「ことを忘れてはいけない」と心している。

おのみち市民大学 親子講座

映画 ヒナゴン

7月東京日=ドシヨ= 5月28日(土)より広島先行日=ドシヨ=

1回目	9:30	券	1,800円
開演	10:00	当日	1,000円
終演	12:00	特別	1,500円
2回目	12:30	割引	800円
開演	13:00	券	800円
開演	15:00	子ども	800円
終演	15:30	高校生以上	800円
3回目	15:00	小学生以上	800円
開演	15:30	3歳以上	800円
開演	17:30	終演	17:30

6月18日(土)

しまなみ交流館 シェルネ

テアトロ TEL (0848) 25-4073

尾道市教育委員会 (0848) 20-7444

合併問題にゆれる小さな町に未知なる生物現れる。その正体は?

# 弓削通信

第95号

発行者：平山和昭  
〒794-2509  
愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

## ムダはないか

日々この弓削島(佐島)で寝起きし、ある人は島内、ある人は島外で勤め、子を育て、そんな平凡な日常に身を置いている人が大半であると思えます。

しかしここに住むにしても決してタダではなく、家賃や共益費と言えぬ地方税をはじめとしたお金を支払ってはじめて弓削島というアパートに「入居」できているわけです。それでは、支払ったそのお金、果たしてそれは捨金なのでしょうか？

我々が支払ったお金は決して国や自治体に奪われるのではなく、あくまでも「預けた」お金であると認識するべきだと思います。そのお金を、供出した我々のために「預ける」のだと。だから我々はその預けたお金が何に化けるのかにもっと関心を持つべきだと思うのです。

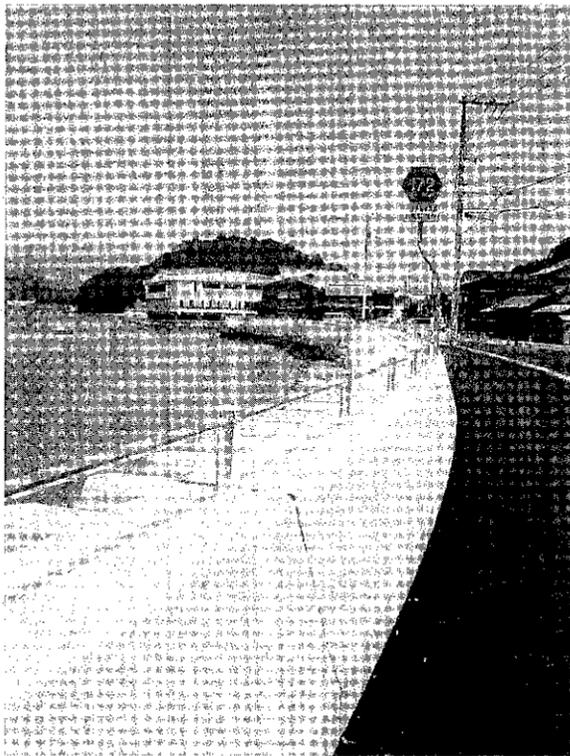
思い浮かべてみてください。もしもあなたが自腹で何かを買ったり造ったりする場合、少しでも費用が安くなったりムダが解消できる余地があるとすれば、血眼になってそれを追求するのではありませんか？それが身の周りの公共工事などになると、明らかにムダだと言えらるようなことにも殆ど関心を示さなくなるのはなぜでしょう？

そこにはやはり、払ってしまった税金は捨金。自分たちの手から離れたお金だという意識があるからだと思います。

税金を払うのは消費行動ではないのだから、払ってそれで終わりというものではないはずで、まさに払った後もそのお金は我々が「預けたお金」として生きていると私は考えています。

国家的プロジェクト規模のムダなどを監視するなんて大それたことは容易にできることではありませんが、せめて、自らが住む故郷、この小さな島だけでも普段生活していて、身の周りを見回し、つまらないムダが行われていないか関心を持つ。そんな気持ちがあっ

## いつも関心をもつて、いつも疑問を持って生活すれば



地区住民がよく掃除をしていた浜も道路に化けた (撮影・筆者)

てもよいのではないのでしょうか？少し見回すだけでも「自分だったら絶対にこんなことしないのに」と考えるようなことが一つや二つはあると思うのですが如何でしょうか？

例えばこの写真。明神に建設中の新しい道路の堤防上に取り付けられた金属の防護レールです。

さて、たったこれだけの高さの物にいつい何の意味があるのでしょうか？これが無いと人が海に落ちることも言うのでしょうか？実用的に考えると殆ど無意味としか言いようがない。もしも見栄えがいいから付けているのだと言うのなら、それこそ島中の堤防の上全てに同様の物を付けなくてはならなくなるはずだし、現に明神と同じく埋め立て道幅拡張し、新規に堤防を造った弓削保育園前にはこんなもの付けられてはいません。

これを付けるにあたって、本体の材料費、それにコンクリートに穴をあけて埋め込む費用、人件費、施工範囲。素人考えでも、とても一万円や二万円で作れるものではないですね。もし個人が行うなら絶対に二の足を踏む金額になるはずです。

この費用が皆さんの財布から出たなら、と想像してみてください。我々住民がこのような類の小さなムダにさえ関心も疑問も持たないから「ムダな風景が当たり前」になってしまい、ムダをムダと感覚的に認識できなくなっているのではないのでしょうか？

日頃から役人たちの税金投入行為に関心と疑問を持ち、矛盾した点や筋が通らない点があれば、それを常々口にしていこう。そうしているうちに、少なくとも島の中で、自然とそんなムダを「やりにくい雰囲気」や「空気が生まれてくるのではないのでしょうか？」

「あれは県がやることじゃけん、町がやることじゃけん、わし一人がガタガタゆうてもしょうがないんじゃ」と、やはり、そう思いませんか？

こんなことを考えること自体ムダなのでしょうか？

(投稿者・宗近雄一)

## eメール往来

【大学のあるまちづくり】②

From: <Abcd@m2.ocv.ne.jp>

Date: 2005年7月3日 22:10:02:JST

To: 平山 和昭 <yugeru@gold.ocn.ne.jp>

Subject: 大学千夜一夜

《佐島で先端技術を生み出す》

● ビジュアル系のコンピュータ技術を教える学校が、モデルとする学校のひとつにアメリカのユタ大学があります。ユタ州はもともとモルモン教徒がソルトレークを中心に集まった州だということは知っていると思いますが、この辺鄙な田舎の大学も、こと三次元グラフィック、デジタルコンテンツにかけてはなかなかのものということで知られています。ここの強みは、モルモン教徒が多いせいもあって、田舎暮らしの好きな技術者が自宅で事務所を開き(いわゆる SOHO: Small Office Home Office) 大学とも連携しながらビジネスをしていることです。

実際のビジネスがらみで開発された新しい技術が大学で学生に教えられ、また自分なりに技術を開発した優秀な学生が、自分でベンチャーを作って自分のSOHOで、その大きなネットワークに名乗りを上げる。そういうことが繰り返されていると思います。

うちの会社でも(副社長が客員教授をしていた関係もあって)建築系の3次元バーチャルリアリティグラフィックをだいぶ大学に発注しています。学生の実習を兼ねての制作ですが、コストの割りにいいものが出来ます。時差の関係で、夕方指示をしておけば翌朝までには、その日の分の結果が送られてきます。1日24時間使えるほどの効率ではありませんが、効率的だと思います。

多分彼らは本質的ではないが手間がかかる部分など、インドあたりの下請けに発注していると思います。安くて優秀だし、夕方指示しておけば、寝ている間にインドで下ごしらえしてくれるといったところでしょうか。

日本でも自然や景色に恵まれたところに住んで、生活と仕事を両立させたい技術者はいるはずで、たとえば佐島の静かなところに光ファイバーを引いたSOHOを用意し、自分の仕事と、高専やデジタル大学院の若者に教える(あるいは仕事を手伝わせる)環境を作れば、子供が小さい間、何年間か家族で来てくれるのではと思います。もちろん、もう子供の巣立ったベテラン技術者も必要でしょう。

(筆者は建設会社役員・弓削出身)

予告

8月7日(日)2時~4時

場所: 芸子文化情報センター多目的ホール

①腹話術・ローフ芸・佐藤国広さん上演

②演劇「ほくしいさんのほくしいもの」

いつもやさしいほくしいさん  
この頃はまだ元気がありません  
これをお心配してあつまつてきた  
ほくしいさんの5匹のともだち  
はさてほくしいさんのほくしいものは  
そしてそれはいつかたのちでしようか?

「図書館だより」から

演劇団マンボウ 上演

男女共同参画フォーラム

▼とき 7月16日(土)12時~16時
▼ところ 市民会館
▼内容 辛淑玉さんの講演「あなたがもつと輝くために」、パネル展示ほか

▼問合せ先 因島市人権推進課
0845-26-6213



しんすこ 辛淑玉さん
「広報いんのしま」より

「三庄空襲を思い語る会」

～戦後六〇年にあたって～
日時 7月23日(土)13:00~
場所 しまなみ苑(三庄町7区)
内容 体験者の話、記念曲、紙芝居の発表
主催 0845-22-7135 青木悦子
「三庄空襲を思い語る会」実行委員会

因島

思師からの手紙

元気であるか。小生今のところ元気みたいだ。今朝、目が覚めて、天井を見ていたら、能地敬君の顔が浮かんで来た。浪切満君とあなたの顔が浮かんで来た。弓削の夢を見ていたからだなあ。その夢を思い出ししてみると、こうなんだよ。
いまの私が五、六年生のあなたや浪切君や能地君らと土生を歩いていた。気が付いたら能地君は居なかった。砂浜に岩盤が広がっている所を歩きながら、浪切のみつちゃん、毎日ここを歩いて学校へ通っているんだと思いつながら彼の家の前に着いたら、周りには誰もいなかった。潮が満ちたら何処を通るのだろうと考えていたら、目が覚めたような気がする。
今までも「弓削通信」が届くたびに石山が浮かんだり、濱都の浜辺や松林が浮かんだり、その中に、モ子やカークくんが景色に馴染んでいるんだ。沖さんの時はいつも山道を歩いている。
今回は、能地君はどんなにしているのかなとか、潮が引いた蟹の穴が出ている湾の景色や、あつちつて「安土」こう書くのかなあ？弓削にどうしてあつちなんだらう、信長と関係があったのかなあと、君たちのことを考えていたんだ。それが夢に繋がったんだらうね。五十余年も昔、弓削を出て以来会ったことがない人達は、未だに小学生だよ。
今度北京からウランバートルまでのラリーに、ホンダのカブで挑戦する若者がいるというニュースを読んで、俺も「しまなみ」をやってみようかな、と食指を動かしています。その時は弓削で一泊するようになるでしょう。決まったら、連絡します。
平成十七年六月十八日 荒井一省

六月八日から二十四日までの会期で平成十七年六月定例議会が開かれました。全員協議会を含め実質審議日数は三日間。この六月定例議会から議会広報が発行されます。八月に第一弾の予定。長年議会広報のなかつた弓削地区においてはお楽しみ、というところです。翌月発行が望ましいが議会事務局の人手も少なく、無理。

議員の質問

議員は質問をする。当然です。議会では質問をしないのは議員として職務の半分を放棄している、質問することがないほど完璧な町政なら議員はいらん、など有権者から叱責をいただくことがよくあります。自分の的を射た質問が出来るかどうかはひとまず置いて、だからタネを探しては質問するようにしています。

空しいかもしれぬが

一般質問だけではなく議案議の場でも議員は様々な角度から、町民の望みを叶えるべく質問を繰り返しますが、ある意味むなししい時もあります。町民から見るとこうあつて欲しいと望むこと多くは、法による規制、つまり、お役人にとっては越えがたい壁に遮られ長い間手を付けてこなかった件で、したがって理事者側はまず、「出来ない」と答弁をしようとするからです。町民がいろいろアイデアを持っていても、なかなか実現はむづかしい部分があります。

議員を生かすも殺すも



例えば、施設の目的外使用。ある目的のために補助金をもらうて作った施設は、その目的以外には使用してはならない決まりがあります。
少子化が進み学校のひとつを閉校にしても、それを他の目的で使おうと思えば簡単ではない。簡単でないから結局建物を腐るままにする。
あるいは高齢者福祉施設を作り、何年も空いた部屋が幾つもあつたとして、では他の使い道を、と提案しても「それは目的外使用で無理だ」となる。

解決策はないのかな

地方自治体の活性化をはかるため構造改革特区の設立が政府によって呼びかけられ、特区認定されれば事業展開の障害になる規制が緩和される。が、そもそも自治体に規制を外してもやりたいことがなければ、特区申請すらおぼつかないわけです。
最近では「特区で規制緩和できるなら特区でないところでも緩和しろ」といい出す自治体もあらわれ、政府内でも、はやそんな議論に同調する動きが出始めて

いる様子。

「だめです、出来ません」との答弁を予期しつつ提案や質問を繰り返すのは、問題の所在を指さし続ける意味なのですが、「よしーひとつ改革の先頭を走ってみようか」という意欲を感じさせない答弁には、やはり後追いしかできないのかと、空しさが残るわけです。言わずもがなのことを付け加えると、行政は誰のためにあるのかというところです。

閑話休題

ところでどうでしょう、みなさん。ときには議会の傍聴にいらつしやいませんか。
なににな？、あまり役に立っていないように思えない議員を見にわざわざ出向く気にはならないです。それはさびしい。
役者は観客次第だ、といわれるように、議員も傍聴者の有無次第だと、日頃感じています。
議員を生かすも殺すも有権者。戦う議員の背を押すことにもなる議会傍聴に、ぜひお出でを。

夢をつなぐ

平山は今議会の一般質問で「老人ホームの新築をするなら町職員としての医師の確保をセツトで考えたらどうか」と提案しました。
町長は、取り組みたいとも検討したいとも、そして出来ないとも答えます。だから、とでも言いますか性懲りもなく、町長が「出来ない」と言わなかったことに、夢をつなぐたい。

チン説百人一首・14
もくさの巻
青木喜代子



かくとだにえやは伊吹のさしも草さしも知らしな燃ゆ思ひを
「君をこんなに愛していると、とても口に出してはいえない。伊吹山のもくさのように、くすぶっている僕の心を君は知らないだろうね」百人一首に興味をもった理由のひとつに、いつか歌枕を訪ねてみたいという夢があつた。十年以上もまえ、北陸を旅した。あれが伊吹山。もくさの産地と教えられ、驚いた。
伊吹山は初めて見るけど、もくさは子どもの頃からよく知っている。そのもくさと伊吹山と百人一首がつながっている。うれしくてわくわくした。歌の意味を知り、ときどきした。なくん、今も昔も変わらないんだ。
しかし、この歌を贈られたのはどんな人だつたんだろう。
一緒にいた友人に話すと全く興味を示してくれなかった。
男の照れだね。その昔、青春時代のあの胸のときめきを忘れたとは言わせないう。その君は初恋のひとつ年上の女性と結婚している。

スポーツマンの彼はやさしい性格で、もてた。周りの女性達には全く動ぜず、不思議だつた。けど彼から年上のひとのことを聞かされて結婚したときは、本当にしあわせそうだった。今でも金のワラジの奥さんを大切にしている。
けどごだわりでたくわえているヒゲに白いものが目立ち、老眼鏡のお世話になつている。
ナイスミドル？
ううん、ただのオジサン。
~~~~~
愛媛新聞には最近立て続けに弓削に関する記事が掲載されています。
7月2日「海の駅」の事。
7月3日、弓削の女性団体の事。
7月4日、うつほ物語研究者猪川優子氏の「マスコミ時評」。7月6日「弓削野鳥の会」が珍鳥「アカガシラサギ」を確認の事。みんな元気でない！ですね。

# 弓削通信

第96号  
発行者：平山和昭  
〒794-2509  
愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

残暑につきお見舞いを申しあげます。  
ない知恵をしぼっても出るは冷や汗。では背すじの凍る話でもして残暑をやりすこしましよう。

こんにちは！知事です  
七月二十九日、加戸愛媛県知事が来町し、知事と県民が直接対話する『こんにちは！知事です』が開催されました。

この企画は七月十九日～八月五日にかけ内子町平岡での開催を皮切りに、県内五カ所、宇和島市天神町、西条市喜多川、上島町弓削、久万高原町菅生で実行され閉幕。

これらに先立ち傍聴者募集があったわけですが、各地区募集人員五〇名。申し込み先は県(各地方局)とされていて、わが上島町では申込者が少なく、急ぎよ町で追加募集をせざるを得なかったと聞きます。

素人考えでは、めつたにない知事直々の講話が拝聴できるなら県もわずか五〇名などといわず、できるだけ多くの傍聴者を募り傍聴者受付の窓口は、最初からそれを実施する自治体にまかせたらよからうに。

もうひとつ。この企画はハナから募集要領で傍聴者の発言を封じていました。そのことは先行実施されたところでも不評だったようです。早々と二七日付け新聞に『こんにちは

は！知事です』西条版に参加したらしい大洲市の主婦からの投稿が載りました。

「いろいろ質問したくて出かけ、真つ先に手を挙げて質問の順番を待たされた。お膳立てされた発言者の質問には県政と関係ないものもあり、とても残念。残り二回の会合では、ぜひ参加者にもっと発言の機会を」と言っような内容でした。

## 九年後の上島町は

「今治市」か「尾道市」か「永久上島町」かそれとも？

からますこの記事のことを話題にされたところを見ると、恐るべし投稿一です。

### 現実を見定める

本番での知事発言の眼目は、上島町は合併特例期間中(向こう十年間、旧法による地方交付税の保証がある)に自活の道筋を立てられないと、あとはありませんよ、と現実的かつ冷水的なことであつたように思えます。

知事は、「岩城島までの橋は、十年にまたがってうまく架けてあげることが、それをテコにしての自立策はあなた方の責任です」とおっしゃる。

自力ではい上がれ、との概は当然のこととしても、同じことを知事は別の場所で述べておられる。(七月三一日、愛媛新聞に掲載された知事インタビュー)

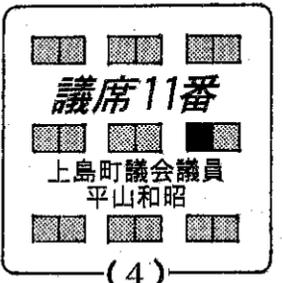
「越智郡上島町は合併メリットがそんなにないと予想していたのによくまとまった。いざ今治市か尾道市との合併を考えたにしろ、岩城島から生口島(広島県)までの架橋がなければ実現はむづかしい」

どうですか、みなさん。これはかなりはきりしたメッセージのように読めますか。つまり、残る九年間をただ流されているだけではその後の選択肢は一個しかないということ。その一個しかない選択をしたとらうで早晩沈没する。もつ面倒は見られん、が偽らざる「口」では。

## 早くも議員削減の要望書きたる

八月九日、臨時議会がありました。次世代救急艇建造契約(約九八〇万円)および消防団員の活動服一式購入契約(約六七三万円)の議決。救急艇は救急車一台が載るフェリータイプとなります。

本会議終了後、全員協議会が開かれ、町側から「消防庁舎建設検討委員会」から答申を受けました。岩城地区造船振興計画にかかる漁業補償の妥結をみたことこの報告、(金額は九月定例議会補正予算の結果を待つて報告します) 生名地区駐車場整備計画(生名一八八一番一)の土壌分析結果および、鑑定評価額一億九六一〇万円(平米あたり約九八〇〇円)の報告がありました。



新消防庁舎建設は、弓削港脇の用地が最適との答申がだされ

としても、なりたいようになるほうが、断然格好いい。

### 永久上島町へ

先の新聞投稿のおかげかどうかわからないが、先からの発言がゆるされ「これから先も永久上島町として残りたい。よろしくお願ひします…」する。

「人口一万人を下回るならこれからは余分な国からの仕送りはありません。上島町は町長、町議、役場職員を半分にするなどして人件費を減らし、貧しくとも心豊かに生きる心算なら残れる可能性はあります。が…」と知事。

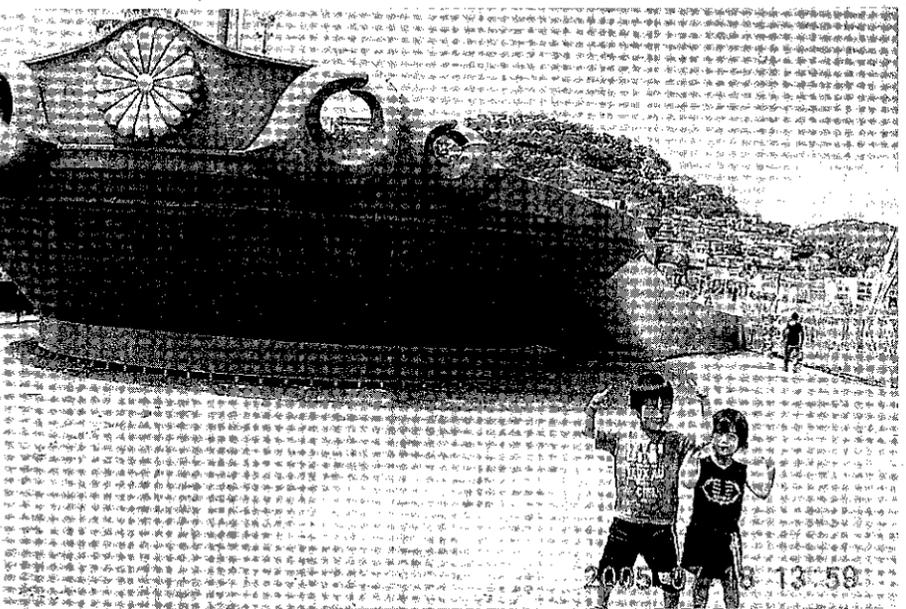
「神(お上)はそれで武蔵は考えた。」「神(お上)は敬つものにして、たのむにあらず」「いま言われ、まさに自力でなんとなかて見返したいじゃありませんか!」

### 打って一丸とならずば

これからの困難な町運営。取立て低所得に甘んじてでも古里の町を維持せんとする人士をどう確保するか。

奇しくも敗戦の焼け野原から這い上がって二ツポン六〇年。気づけば気概も理想も氣息奄々の荒蕪地に立ちます。読者諸賢の眸にはどのような未来が見えているのでしょうか？

たことに対し、複数の議員からは、弓削、岩城橋が全通した暁に果たして弓削であることが最適か、との意見が出されました。この答申を参考に理事者側では具体化にむけての作業へと進むこととなります。



## …ヤマト…

映画「男達の和」のための戦艦大和の実物大セットのままで。  
●尾道市向島町日立造船工場内に作られている。来年3月末まで一般公開。中学以上500円。小学300円。木曜日と年末は休み。

弓削島の上弓削地区対岸にある広島県因島の三庄が空襲を受けたのは、太平洋戦争が終わる間近の昭和二十年七月二十八日でした。

家老渡とそれにつづく沖浜、神田、小用地域にかけて当時、日立造船の三庄工場や住宅などがあり、軍艦の修理を専門にしていた。近くに捕虜収容所もありましたが、その工場を中心に空襲を受けたのです。

空襲を受けた工場跡地には老人福祉施設「しまなみ苑」が建てられていて、すでに当時をしのぶよすがはありません。

### 紙芝居 「三庄空襲を思い語る」

終戦六十年節目の今年、その「しまなみ苑」を会場に「三庄空襲を思い語る会」が開催されました。

幼なかつたけど空襲の記憶がある人や、家族から空襲のあつたことを伝えられてきた人など、三庄の地元の有志の方々は、数年前から三庄空襲の体験談を収集してきました。その体験者の、ひとつひとつの記憶が、このたび紙芝居の形で残されることになったのです。

この会は通算四回目をむかえ、特に今年には新たに記念曲「平和の誓い」が発表されました。

力強くリアルに描かれた紙芝居は、空襲のいや戦争の記憶を風化させてはならないの思いがひしひしと伝わってきます。

「畑仕事に出た朝八時すぎに艦載機がやってきました…」

「艦載機が二機来たので急いで工場へ行ったが、振り返ると自宅がやられていた…」

「うどん屋さんが…」

「柿の家の隣の一家が…」

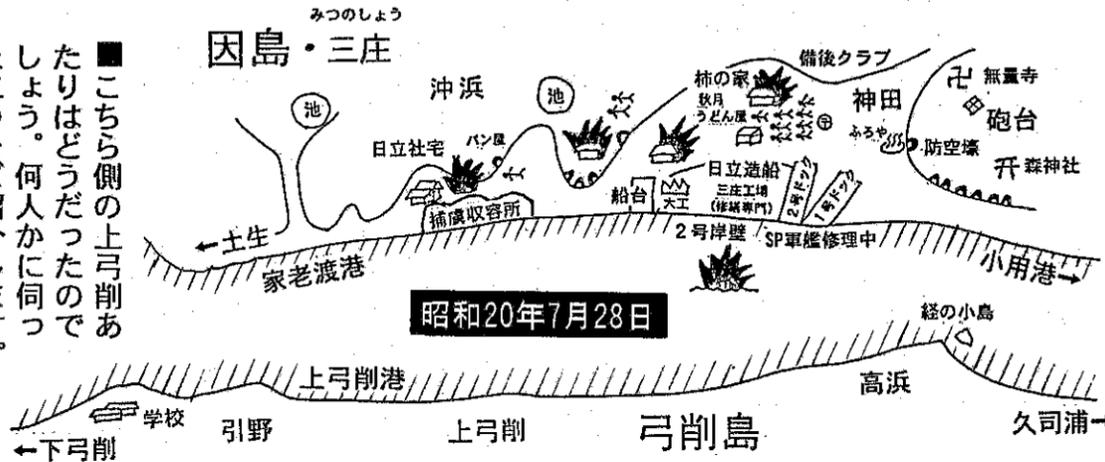
「友達が妹の赤ちゃんと…」

「杜宅の人たちが…」と、

思い出すのも辛い話を、今まで寡黙だった人たちが、やっと重い口を開いてくださったのです。

捕虜収容所にはイギリス人などが居て、工場で働らかされていたのでしょいか。栄養失調や病気で亡くなった人も多かったそうです。

因島はこの年三月と七月に空襲をうけ、およそ八十名のかたがたが無くなったと聞きました。



■こちら側の上弓削あたりはどうだったのでしょうか。何人かに伺った二つをご紹介します。

(その一) 今の上弓削にお住まいの当時十七才の久司浦出身の男性の鮮明な記憶。

警報が鳴つてすぐグラマンが上弓削上空を旋回し三庄へ行って爆弾を落としました。そして「経の小島」の上をとつて久司浦の昔の公会堂あたりまで低空で飛んできました。二階の窓から見ていた我々がけて機銃をバリバリつといわせ、三発が外壁を貫通した。家の中の柱やタンスにあたったが、すぐ逃げていたので怪我はなかつた。

た。自分は昭和十八年に父が亡くなり、兄二人は出征していたので学校をあきらめ、家業を継いでいたときのことだった。

三庄の空襲で爆弾を海に落とし魚がたぐさん浮いたので船がある人は取りに行つたときいた。チヌやボラだったろう。

(その二)

当時十七才。ずっと上弓削で暮らしてきた女性。

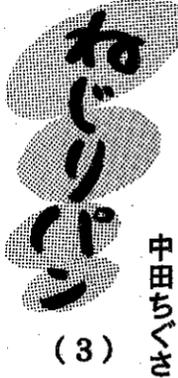
その朝、不在校当番で友人と学校へ行く途中だった。先生と一緒に学校を守る役目です。因島方面から艦載機が引野の上へ飛んできたので大急ぎで学校へ走り防空壕へ飛び込んだ。間一髪でバラバラと弾が落ちてきた。命拾いをした。

三庄が空襲で焼ける火はよく見えた。海に落ちた爆弾で目が飛び出したタイやチヌがたぐさん浮き上がり、船を出して取りに行つた人々もあつた。誰もそれをくれなかつたが、あの魚を食べた人があつたのかどうか今にして思う。

もしかしたら別の日だったかもしれないが、B29が編隊で今治方面へ向かうのを見た。そのころ同年代の娘さんは、因島日立の工場へ働きに出た方、今治へは女学校とか挺身隊として行つていた方などいて、今治空襲で亡くなった方もいる。

挺身隊には校長からいわれ四人ほどが行つていたと思うが、空襲を体験してからは行きたいと言う人はいなくなつた。また今治は危ないというので連絡船が出ないので無理にお願いして出してもらつた別船で今治に渡り、空襲にあつて亡くなった方もいる。運命の皮肉さにとっても悔しい思いをした。

まだまだたくさんの方の心には、忌まわしかった戦争の思い出が眠つていよう。平和の大切さを後世に伝えたいという「三庄空襲を思い語る会」実行委員の方々の情熱を応援したいと思います。



中田ちぐさ (3)

「俺は男やけん、そんなんできん」無意識に坊の友達から出た言葉だ。

十才の坊に、

「夜はあんたが作つて適当に食べてね。ついでに、嬢のも作つてやうてねえ」と頼み、夕方七時まで一緒にいさせてくれたというその坊の友達に、「手伝う？ 買い物行つて…あんたも食べて帰る？」と聞いてきたときだ。

「ほお。男はできんもんなんかあ。男つてポロちいねえ」(ガキ相手にマジでイヤミを言う私)

「世の中、コックつて男に決まってるでえ。男の方が料理に向いてるんやろ？ あんた坊の友達みために男だ女だと言いつたらこれから生きていかれせんぞえ」

まだ必要以上にイヤミを言う私に坊は、

「もや、ええやろ、あうち行けや。オレもせん！ パン買ってきて食べるけんね」と出て行つた。

ケツ。男だからって何だつてんだ。

女だ、



女向あつかい

私は子どもの頃から、料理も洗濯も、掃除も裁縫も、「家事」つて名の付く類はぜんぜんくくんぶキライだったし、苦手だった。

今でも得意じゃない。でも、死なないように食べていくほどの料理の腕、一つの服が何度でも着られる洗濯の腕、アレルギーがありながら、ハウスタスト系には無縁で過ごせる掃除の腕、幼い子どもがいても特に問題ない程度の裁縫の腕、はある。(ミンシものは全部パパに依頼するが)

独身の頃はパパがある意味「家政婦」だった。

超安の「家政婦」が雇えたら…。家事一切から免れることができたら…。

「そつだー嫁をもらつてー」男ならそつなるんだよなあ…。

「家政婦」兼「娼婦」を自分の給料内でまかなえて生活し、生活していけなくなつたら「家政婦」兼「娼婦」がパートなりに働きに出てくれる。収入を拡大してくれる。ほんなら…私は誰をもらつたらええんじや？

### 第2回 「美の形式——瀬戸内海の作家たち」展

光風会々員 日展会友

## 織田恭一 油絵展

### ●織田恭一画伯は

昭和4年生まれ。洋画家。

小学生の6年間を現上島町佐島にすごされた。

弓削小、中学校へは作品を寄贈していただいたり、

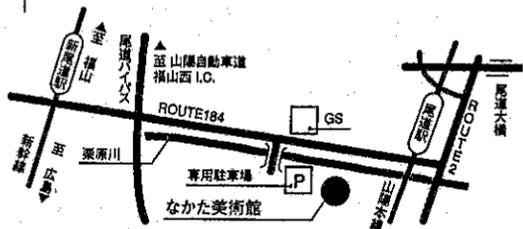
今回の油絵展には弓削中学校蔵「滞船」(百号)が出品される。尾道市在住。

2005年8月17日(水)

9月11日(日)

開館 午前9時～午後5時  
休館日 毎週月曜日・お盆・年末年始

入場料 一般 1,000円  
学生・団体(20名様以上) 800円



なかた美術館

〒722-0012 広島県尾道市瀬見町6番11号 TEL.0848-20-1218

# 弓削通信

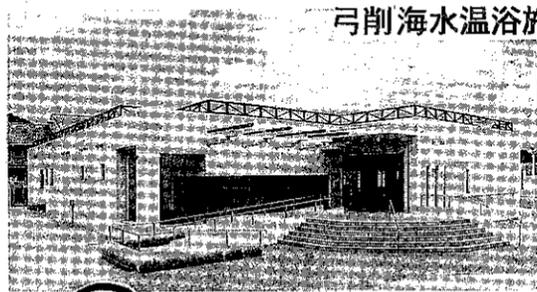
第97号

発行者：平山和昭  
〒794-2509 愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

という単純な実体か  
ら。  
総合判定二重丸  
岩風呂、ミスト(熱い  
塩霧の吹き出ししている  
サウナ)、アワ湯、冷水  
浴、真水の風呂にハーブをつけ込  
んだキャラクター湯、それに運動  
浴タブと呼ばれる温水プール。  
戸外に出て温海水露天湯も体  
験した結果、総合判定は◎!

●上弓削地区にある「潮湯」(しおのゆ)は「海の恵み、からだの仲に」というキャッチコピーで町外の人にはうらやましがられている海水温浴施設です。海水を使い、人間が本来持っている自然治癒力をいかし、心身のリフレッシュをしよう。

## 『潮湯』体験記



弓削海水温浴施設



初心忘れず

### カラス、長湯に遊ぶ

開業以来一度も利用したことがない後ろめたさがあり、かつ友人から腰痛が直ったなどとも聞いていて、なによりモノ申す立場として一度は行かずばなるまい。というわけで、「潮湯」体験にでかけることにしました。

筆者、風呂といえば文字通りカラスの行水だ。体を洗いシャワーを浴び、だぶだぶと湯船に入り、ほとんどカウントウンに至らないうちにぼろぼろである。

「潮湯」では出来るだけ長湯?をしよう!と一大決心。出来れば半日は居たいと。ムリでしたけど...

初めて利用した感想をいうと、なかなかいい感じ、というところですね。

まず長湯でも疲れない。(あの一時間半は自分としては破格!)理由はわかりません。二時間ぐらいが普通の利用時間なのでしようか。

入浴効果は四八時間持続? これは、老骨とはいえずきつとした肌感覚が翌一日持続した、

## 海水パワー人間になろう!

人ほどは入つてもらわないと人件費すらまかなえない筈で、地元の利用者が伸びなやんでいるのが気にかかるそうです。

隣の因島市が各方面からの働きかけで「潮湯」のある上弓削港の向かい側、家老渡港に「潮湯」利用者の便を図って駐車場を作ったところから因島市からの来客も増したわけですから、地元町内の利用者を増やす努力は、まだ

## 今ある施設の活用もひとつもひとつ!

まだ積極的な招き寄せ策が必要ではないかと感じるところです。

所期の目的をわすれてはなりません、どの程度医療費が圧縮できたかは曰く言いがたいものがある。が、こういう施設は赤字黒字という議論より、いかにそれが町民に喜ばれ、活用されているかに目を向けねばなりません。

それ次第で一般財源からの持ち出しが許容できるか、そうでないかになるわけですから

外気温との差が少ない時季なら露天湯もすくいい。

### 持続的な協力関係を

いくら町民の利用が増えない理由の分析をしても、手を打たねば改善しない。競合する施設が近くに無い有利な今の状態がいつまで続くことやら。

岩城地区などからの利用者もおられるそうですが、やはりアクセス、ことに帰宅時の船便と町営バスとの接続がうまくいかないとい

聞きます。小型車での送迎サービスを組み込むなどして長い待ち時間の解消を考えてあげられるも手でしょう。

ハーブ湯の素材提供ボランティアも一所懸命協力をされておられる。それ以外にも、常連でない人の目には更衣室ロッカーのサビも気になるので、小さなメンテナンスもおこなうべきではないでしょうか。行政担当部署はボランティアとの心の通い合いも含め、もつと



写真「魚島地区盆行事」で「踊り」にて。毎年八月十五日、踊りに参加したくてたくさん子どもたちが帰郷する。「てんてこ踊り」は、そんな子どもたちで維持できていると言ってもらいたい。

### 「上島おもしろ交流クラブ」へご案内

毎月第3水曜日、午後7時~9時「せとうち交流館研修室」で「上島おもしろ交流クラブ」を開催しています。他人の感性への共感を楽しむゆとりこそ私たちに、新しい発想のきっかけを与えてくれることを信じ、誰でも興味あることを自由な立場で話し合っています。おもしろい企画や話題の発信源になればと思っています。どなたでも話題をひっさげ、ぜひお立ち寄りください。飛び入り歓迎。会員の年会費は1000円です。問い合わせ・連絡先 ☎ 0897-77-2760 座長 (竹林) ☎ 0897-77-3072 弓削通信 (平山)

|       |            |             |
|-------|------------|-------------|
| 9月    | 感動の韓国映画2本立 |             |
| 24(土) | 八月のクリスマス   | 10:30~12:10 |
|       | 大統領の理髪師    | 13:30~15:30 |
|       | 八月のクリスマス   | 16:30~18:10 |
|       | 大統領の理髪師    | 19:30~21:30 |

場所・尾道しまなみ交流館  
尾道に映画館をつくる会  
070-5522-4958  
[前売]1本券1,000円、2本共通1,500円

激しい思入れで「オラが商売」意識をさらに発揮してはいかががでしょう。

### 変化を進化に

施設で軽食とかできるというのが、とは利用者からよく聞く願望ですけど、これ以上の増改築はなかなか難しい面があるらしい。でも役所的には経費節減が至上命令かもしれません。が脱皮がなければ客商売は衰退する。スポーツ・ジムの併設もいいかもしれません。

今ある物をどう最大限に活用するかには民間力の活用も大事です。小さな民活が出来れば、大きな民活などできるはずもないですね。

ともあれ「塩湯」で肉体的、あるいは精神的不調が改善されるなら利用者にとって対費用効果は上々。次回は勤め帰りの疲れたカラダにはどう効果があるか、を試してみたい。

平山和昭・記

# 老人ホーム・視察レポート

議席11番  
上島町議会議員  
平山和昭  
(5)

## 新しいわが家

弓削・浜都出身の岡八代美さんが施設長をつとめる東京都渋谷区の特別養護老人ホーム「つるとかめ」を視察させていただいたのは去る七月二十一日。創刊「上島町議会だより」(本年九月)には、詳細が載りませんでしたので、施設視察を提案した者として視察に関して感じたところを報告しておきます。私見です。

### 世の中変わった

我が国の社会一般では老人ホームに対する認識がこの十数年で大きく変わりました。とうとう「できるだけ身近に」必要な施設、というところまできました。

老親をホームに預けるのは一家の恥、姥捨て山、迷惑施設、など、これがつい十数年前の地域の反応だったことを思えば隔世の感があります。

特別擁護老人ホーム「つるとかめ」は平成十一年四月、特養・定員五〇名、ショート・定員三名、空床五名、デイサービス・二〇名で認可され、翌年介護保険指定事業。デイ・定員三〇名に変更して現在に至っている。

### 個室にこだわったホーム

文字通りホーム「家」ということで区を説得し、個室が主の施設にこだわった。各部屋にはシャワー、トイレ、洗面設備完備。入所者の客用に簡易ベッドも用意されています。

入所者の一番の喜びは家族の訪問。自宅生活なら子や孫など、客がくれば泊まってしまうのは普通のことで、つるとかめ「の部屋は、ただ入所者が寝起きするだけではなく、そこでの生活も可能という要素をはっきりと打ち出していることです。

たとえ泊まっていなくても、いつでも泊まれる部屋に家で住んでプライベートと安心感、そして誇りを保つという考えかたです。

### 老人の居場所

「上島町の各地域にも、老人が安心して訪ねてゆける場所が必要なのは」と八代美さんは言う。

彼女の言葉は、疑心暗鬼に荒んだ今の社会全般にたいする哀しみ、私たちが取り組まねばならぬ課題、そして、私たちに寄せられる希望だと受け止めた。

チン説百人一首・15・しらぬまのくせの巻  
青木喜代子

忍ぶれど色に出にけりわが恋は物や思ふと人の問ふまで

先代の中村勘三郎さんだったか、「あたしやあね、この歌が好きでね」と、「ほれているのかお前のくせが、いつかわたしのくせになる」と都々逸をうたっていた。

好きな人ができるとその人の好きな歌を聴き、その人の好きな本を読み、好みを合わそうと涙ぐましい努力をする。なんと健気なその甲斐あって人前であなたのくせがぼろりと出たときはうれしくて、うれしくて、思わず誰かに告白したくなる。

おそろくどなたにも少しくらいこんな甘く、切ない経験はおありと思う。

「私たちが結婚しました」との葉書。趣味は二人とも音楽鑑賞とドライブだって。ねえ、どっちが合っているの？ま、いいけどさ、末永く続けてね。

有名人が離婚した。原因は、価値観の違いだって。あったりまえでしょ。どっちかが歩み寄っていかなきやね。

夏の屋下がり、夫と縁側に座ってスイカを食べながらそんな話をしていた。(早いもので結婚して四半世紀が経ちました。よくもったもんです。自分でも驚くほど辛抱強くなりました)と夫の横顔に書いてあるような気がした。と、ふたり同時に勢いよくタネを庭に飛ばした。見ると同じように片ひぎを立ててスイカを食べている。ねえ、これどっちが合わせているの？

似なくてもいいのに、あなたにくせがいつか私のくせになり...

## つるとかめはこんなところ……



「つるとかめ」でみなさんのお手伝いをする、気さくで愉快なスタッフです。気軽に声をかけてください。

娘がいてくれると、いつも通りでいられるから。

「今朝のおみそしる、いつもと違うでしょ。あたり前の会話をしながらいつもと同じ生活をしてもらおうと、「娘」の視点で運営をしています。利用者の立場に立ち慣れ親しんだ生活環境を心がけ、個室の部屋の飾り付けや私物を持ってきていただいています。少しだけのわがままは、生きている実感のひとつかもしれません。身内の生活と同様に楽な気持ちできてください。個性を尊重しながら、「つるとかめ」という大家族をつくりあげてまいります。

理事長 岡 洋 園長 岡 八代美

ここが、新しいわが家。心地よい生活空間をつくるのが「つるとかめ」の願いです。

特別養護老人ホーム  
つるとかめ  
東京都渋谷区世塚2-31-8

### 「つるとかめ」の取り組み

集団であるが個を大切に、という方針のもと、次のように取り組まれている。

○室を我が家と思えるように、グループホームのいいところを特養にもちこむ。

○厨房を各階に設ける。

調理人がカウンター越しに料理を出し、利用者の好みも感じ取れるようにする。

○流動食といえども「おいしい」と感じてもらえるものを目指す、など。

○そうした一連のことが生活リハビリの一助になるのだという信念です。

○デイサービスでは、

○一人ずつの入浴、

○それそれぞれにあわせた送迎、  
○認知症、一般コースといったふうには分けて、一つのフロアでゆるやかなグループで実施するなど、常に人格に配慮する考え

### 「うさかめ」から「つるとかめ」

この特養の一階の一部には無認可から出発した保育園「うさぎとかめ」があります。「うさぎとかめ」がまずあったので、その延長に「つるとかめ」があるといつてもいいかもしれません。「うさぎとかめ」の命名は福祉の根幹に触れていると感じました。

### 「遠慮しないで」

「うさぎとかめ」を卒園した子どもたちの中には、長じても「へん遊びにくる子もいるのだという。俗にいう「子どもの居場所」にもなっているのでしょうか。もっと大きくなつて、ここで働いている人もいます。

「遠慮しないで」が、八代美さんの口癖である。

「遠慮ない」が普通の家庭。そのひとつのあらわれとして、ここでは職員も園生も、そしてホーム入所者も、八代美さんのことをただ「ヤヨヨさん」と呼ぶ。

**ノイズ** 改革論議が盛んである。どれもあってほしい形には遠い。たとえば65歳までは年金受給しながら仕事をすると給付額の削減をくらう。もう少し老後の足しにと思っても、稼ぐ先から手羽をむしられるように減額される。不愉快だから働かないなど能力を埋もらせる。受給開始から満額を、稼ぎに税金を。さらば小金持ちと消費が増える。なぜかどの政党もそれを言わぬ。

大学の始発を9月からにしたかどうか。高卒の子に選択肢が増え、もちろん大学にも業界にもメリットが増えるはず、など。  
「弓削通信」では投稿をお待ちしています。800字まで。原則記名。発表は筆名でも可(応相談)趣旨を損なわない範囲で短縮等させて頂くこともあり。原稿料無し。

# 弓削通信

第98号

発行者：平山和昭  
〒794-2509  
愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

## 「日本全国ユニーク美術館」

つれあいが単行本の記事の一部を書くことになったので、運転手として尾道市にある「なかつた美術館」、今治市朝倉にある「タオル美術館」の取材につきあつた。

## ●どこかで繋がる人の縁

尾道「なかつた美術館」では、先月、尾道在住の洋画家・織田恭一さんの個展が開催され、弓削中学校にある同氏寄贈の作品「ロードス島滞船」も、教育委員会、学校のご協力で貸し出され展示された。

「なかつた美術館」の前館長中田貞雄さんの要請で企画されたのだそうだが、残念ながら、ときすでに病を得ていた中田さんは、念願の展覧会を見ることなく世を去られた。「絵のまち尾道」運動に同志としてやってこられた織田さんには痛恨の展覧会となつたのではなからうか。

織田恭一さんは上島町佐島ゆかりの方であり、中田貞雄さんは弓削、久司浦ゆかりの方。造船関連産業や海運業で名を馳せている「中田組」の元社主であり、尾道商工会々頭もつとめられた。

## ●ポール・アイズピリ

一方で中田氏は美術品の収集、ことに現代フランスの巨匠ポール・アイズピリの作品の収集家としても知られ、長年にわたり収集された他のコレクションとともに平成九年、「ナカタ・マックコーポレーション」本社ビル落成時に、ビルの一郭を美術館として開館された。

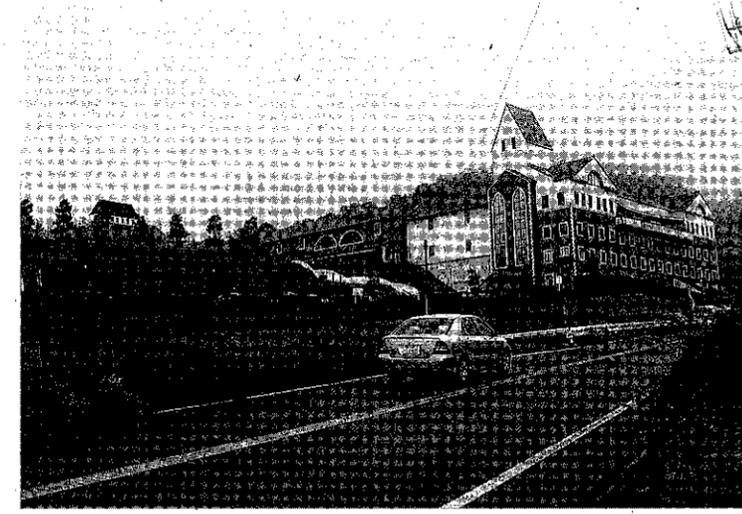
館内の休憩所に「N氏の肖像」というアイズピリの作品がある。穏やかだが裡に情熱を秘めた中田さんの画像は、筆者の亡兄と雰囲気似ていて、懐かしかった。この美術館の特徴は収蔵品のユニークさと、レストランが併設されていることである。

## ●芸術と身近に接する

通常、美術館とレストランを共存させているところはあまり無いと思う。それは調理の香りや、食器、客の立てる音などが好ましく、客の立ち去る音から、美術品を鑑賞することは日常を離れた神聖な行為として人々の中に

# したたかに、しなやかに とにかく皆さん、がんばってますよ！

なかつた美術館  
タオル美術館ASAKURA



今治市朝倉「タオル美術館ASAKURA」  
タオルの情報がいっぱい詰まっている

に建つ美術館と、レストラン「ロゼアン」。皆さん、是非お楽しみを。

## ●誤解も織り込み済み?

一方の朝倉の「タオル美術館」は田圃の中の小高い丘に、洋風のお城然としてある。

「こ」は尾道・今治を結ぶ「しまなみ海道」開通を機に、タオル文化の情報発信の根拠地として開館された。・・・というのは、実は館内を案内してくださつた総支配人・十倉秀樹さんの受け売りで、実際は実業意識に裏打ちされた、したたかな目論見があるとみた。その上で、結果としてタオル文化の情報発信の根拠地としても機

能しているように見える。

この特徴はなんと言つてもその「名付け」ではなからうか。タオル製造工場と売り場、レストラン、ギャラリー、庭園をひっくるめて「タオル美術館ASAKURA」と名付けた。株式会社である。専属デザイナー・俣野温子さんの案だという。

## ●お土産を算段しながら

一階にはフランスの高級食料品

店「フオション」のショップ。二階が地場産品、瀬戸内物産コーナー。三階がタオル工房。四階から上が、タオルと芸術との融合の場で、専属デザイナー、というか、アーティストの作品が展示されているギャラリーがある。

## ●広いお庭に虫も飼われ

ギャラリーのある階は一万坪の庭園につながる。そしてここにも施設を構成する瀟洒な新創中華料理店「王府井」(ワンフーチン)がある。

大連にも生産拠点をもちつというグループ企業は、技術と人の交流も盛ん。タオル工房で客の購入商品に名入れや刺繍のミシンを使っているのは美しい中国人女性たちである。レストラン・ワンフーチンは観光客だけでなく本業のタオル製造に直結する活用もなされているはずだ。

## ●現役作家の活力を

現役の美術家をデザイナーとして抱え、彼らの作品を「織り」で表現する。すこぶる「スト」のわかるこの技術の壁にあえて挑み、業界の技術力の確保。作家への新しい表現領域の提供をしている。まぎれもなく投資であろう。「たかがタオル、されど・・・です」有意義な話を聞かせてくださった十倉さんの目に力がある。

## ●人に会えば世界広がる

十倉さんは今治西高生時代は上弓削高浜八幡宮司亀山さんの教え子だったそう、弓削にも来島されたことがあるという。弓削での思い出は、「みどりや旅館」と「梅林回漕店」。かつての梅林店長の名調子を「あれは弓削の文化でしたね」。人の縁はどこに繋がっているかわからない。(平山和昭)

## ●大切な商才

中田さんがレストランにこだわられたのはそのあたりに含みがあるのではなからうかとも思うが、もちろん懸念される様々の問題が解決されてもなお、その外にもレストランを併設することに意義がなければ、こうはならなかつたであろう。素人考えでも一つや二つは想像できる。

一つは、まず美術館の運営資金を稼ぐ。二つは、広く内外に展開している本業の営業活動の具に供する。優れた経営者の中田さんに将来への布石がなかつたはずがない。

現館長に伺うと、レストランの収入があるので美術館収入は当てにしないとおっしゃる。やはり当たらずとも遠からずか?

いま館長は、故中田さんの息女、富美さんが務めておられる。若い感性での新しい展開が期待される。

尾道駅から近い栗原川の傍ら

\*\*\*\*\*

## 「上島おもしろ交流クラブ」ご案内

時：毎月第3水曜日、午後7時～9時  
場所：せとうち交流館体験交流室  
毎回会員が話題を持ち寄り話し合います。話題はいろいろあります。通りすがりにでもお立ち寄りください。



ミニミニ講演会も計画しています。講師募集中。  
問い合わせ・連絡先 0897-77-2760 座長(竹林)  
77-3072 又は 050-3378-0988(ip電話)(平山)

\*\*\*\*\*

## 「弓削通信」投稿募集のご案内

「弓削通信」では読者からの投稿募集をしています。800字。Eメールでの投稿でもOKです。メールアドレスは本紙上部欄外に記してあります。町内外のことに関する話題、提言、本紙への感想など。情報発信もどうぞ。(照会のため発信者の氏名は明記おねがいします)



# eメール往来

From: ABCD @ybb.ne.jp  
Date: 2005年9月17日 12:07:34:JST  
To: yugeru@gold.ocn.ne.jp

Subject: 「潮の湯」がんばって存続を

弓削通信、拝読しました。今回は上弓削の潮風呂へ入ったのですね。あそこはロケーションとしては、特に露天風呂は、良いと思います。以前夏に入ったとき、天気も良かったこともあり、とても好印象でした。

今回の記事で思うところなのですが、せっかく作った施設の利用が芳しくないということであれば、向上させるためにどのような施策を打つか、ということをおオーナーは真剣に考え、利益を出すべく努力してゆく必要、責任があると考えます。これが民間の企業が経営していた場合、設立や維持に税金を投入できるわけも無く、身腹を切って調達した資金投資するのですから、利益回収のために努力を当然ながら行います。

みんなが本当にハッピーになる公共工事を、みんなが納得(コミットメント)して完成したのであれば、例えばそれが施設であれ、閑古鳥が鳴くような事態は生じないはずですよ。

潮風呂のことだけではありません。例の郵政改革で首相が「民間でできることは民間でやればいい」といった意味合いの事を述べていましたが、世の中は常に競争社会なんですよ、ということですね。

潮風呂は、人体やメンタル面でも、利用者にとっては良い施設と考えます。せっかく作った施設、朽ち果てることなく、新鮮味を維持しつつ、存続してほしいものです。

## 九月定例議会

### 改革に欠かせぬ

#### 町民の意見

九月定例議会は二八日招集され、同日午後六時一五分閉会。筆者の経験でははじめて残業ということになりました。

一般質問は全部で十一人。ますますの盛況。詳しい中身は後日発行の議会報で読むことができます。

平山の質問は、「旧弓削町時代に計画されていた『塩の里構想』をやるのかやらないのか」「町有遊休施設の活用を積極的にするために補助金施設の目的外使用をクリアーする研究を」といった内容でした。

「塩の里」に関しては、その推進に愛媛大学というパートナーがあるの、いつまでも曖昧にしておくはよくないと思ひ質問しました。

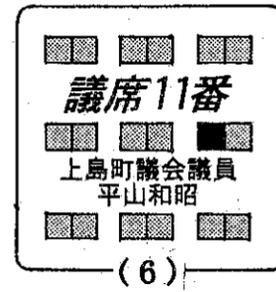
「施設の目的外使用」に関しては、先行き明るいとは言えぬ町の生き残る手だてとして、何事にも果敢に挑む気概が欲しいと念じて質問しました。

いずれも今後、然るべき取り組みがなされますが、理事者答弁の詳しい内容については急ぐ事柄でないのと紙面の都合で「町議会報」に譲ります。

最近ではケーブルテレビでの議会録画放送が大きな関心をもって視聴されている様子なので、ありがたいことです。

議会では通常の審議中にもいろいろな質問が飛び出します。それらが録画放映されれば、より正確に町民のみなさんに理事者の考えが伝わらないのではないかと期待できます。

ケーブルテレビ局も今後、他の



審議も収録、それを編集放映の方向で取り組む意向を示しています。先般、議会の同意も与えておりますので、この方面でもより充実してくるものと思われま

す。番組審議委員会での提案と議論に、真摯に取り組もうと努力されている関係者の熱意に敬意を表します。

今議会から、傍聴席にも小型スピーカーが設置されました。

従来、傍聴席から聞き取りにくかった質疑応答も、より明確になるとおもいます。効果はまだ十分でないかもしれませんが、ハウリングなど技術的問題もあるかもしれません。傍聴者はそれらの感想を議会事務局、あるいは手近な議員に伝えられたらよろしいかと思ひます。

理事者のみならず、議会も、こうして皆さんの意見や要望を可能な限り実現するよう一丸となつて改善に取り組んでいます。旧弓削町時代と比べればそれは目を見張るほどだと感じます。小さなことでも町民のみなさんの忌憚のない建設的なご意見を歓迎します。

九月定例は前年度の決算です。今回は新町になってからの部分の決算なので合併時に旧町村分の決算が終了しているその残りの決算認定でした。

次の十二月定例議会からまた来年度の取り組みにむけ活発な論議が展開されねばなりません。町民の皆さん方もごんごん問題提起をして頂けたらと感ずるところです。

## おたよりから

大きな政府、小さな政府ということは、奈良時代、大事は上皇(孝謙)小事は天皇(淳仁)という分離を思い出します。分離して政治は成功しなかつたと思ひます。

現在の合併が次へのステップと思われていること。こうなると自前の政府をつくるのが可能なのは今のうちです。大きくなつてしまつたら書類のやりとりだけが重要視されます。私は夢の緑の島を期待します。

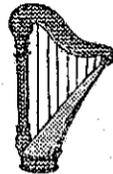
(道鏡を守る会・本田義幾)

## 開館11周年記念行事 予告 因島市立図書館

TEL (0845) 22-8660

一般雑誌リサイクル市: 11月1日(火) 10:00~  
保存期限の過ぎた雑誌約2000冊を1人5冊まで持ち帰ることができます。

「平和への祈り ハープとソプラノコンサート」  
11月6日(日) 2時~3時30分 多目的ホール  
ハープ奏者: 摩寿意英子さん ソプラノ歌手: 終木万里さん  
朗読: おはなしひろばボレボレさん  
ハープの演奏とソプラノの歌唱に詩の朗読を交えたコンサートです。



## おどろびん

中田ちへき (4)

- 公園で夕べつて子どもは眼中にないお母さん。
- ブランド服を着せ、砂ひとごぼたりに触らせないお母さん。
- 「危ないー危ないー」と何にでも手を貸すお母さん。
- ベンチですごし距離をおいて子供を見守るお母さん。
- 集団には入らないお母さん。
- 集団に属さなまきや落ち着けないお母さん。
- 保育園や幼稚園に注文の多いお母さん。
- 注文の言えないお母さん。
- 自分の世界だけが常識だと思つてるお母さん。
- 他の子と比較してばかりいるお母さん。
- 子供だけが中心のお母さん。
- 外に出て働いているお母さん。
- 家について専業主婦のお母さん。
- 教育熱心なお母さん。
- 育児に関心の無いお母さん。
- 子どもの為に全てを犠牲にできるお母さん。



いろいろなお母さん。すぐに手をあげるお母さん。育児書に忠実なお母さん。自分の考えのないお母さん。若いお母さん。熟年のお母さん。元気なお母さん。疲れてるお母さん。……

特別じゃなく、みんな普通のお母さん。みんな普通のお母さん。どの誰が、どう悪い、じゃない。要は、子どもにどうしていいお母さんだつたらそれでいいじゃないですか。私らしく、自分らしくやってみれば、いいじゃない。

……と、書きつつ、やっぱり最低限の常識ってのは必要よねって、ヒヤッとしてみたり……

誰にも人には言えぬ失敗やら、ヤマシイ部分や過去の二つや三つあつて当然。私なんか失敗やヤマシイ事だらけ。でも、失敗やヤマシイ事があつたら、ちよと人の気持ちがあつたりもしている。いずれ、当人が何とかが気づき、お互いが理解しあえるようにならばいいんですよ。

いろいろなお母さんといっぱい出合い、お互い感性や価値観を磨き、プラスにしていきたいです。

いろいろなお母さん大好き！

# 弓削通信

第99号

発行者：平山和昭  
〒794-2509  
愛媛県越智郡上島町  
弓削土生318-2  
TEL・FAX 0897-77-3072

上島町

行政改革

## 「コンビニ」に続々!

「コンビニ」での公共料金の収納代行が「コンビニ」4社で4兆円、メガバンクに匹敵!というような新聞記事に驚くひとは少ないだろう。なぜかといえは普段、銀行やお役所のご都合主義、つまりお客の方に犠牲を強いる現状に、いいかげん辟易してきた人の方が多いだろうからである。お役所にも銀行にもそれぞれ言い分、事情、都合はあるだろう。法の裏打ちもある。それはそれでわからないではないが、自らの組織の存在が、いつい何のために在るのかと、立場をかえて考えてみれば、今までの仕事ぶりがいかに主客転倒したものであったかと、責められても仕方あるまい。

「建前は民が主だが…」

「コンビニ」も銀行も、これからは郵便局も、共に企業として金儲けをしているわけだから、お客にあってなんぼのもの。しかるに政府はさんざ放漫経営をしてきた大手銀行がこけそうになると、血税を投入して助けしたが、当の銀行筋は、助けられたくせに、資金繰りに困っている中小企業には鬼の面で臨み、

## 「民」でできることは「官」でも

貸さず、ひっぺがして世の「ピンチ」を買って来たことは記憶に新しい。これは誰が世間の主人かと言う現状での回答である。

「怒らない消費者の群れ」

日本銀行の金利抑制政策は複雑で、金融機関は預金者に利子を殆ど払わない。これは盗人に等しかろう。改革には痛みを伴うなどいいながら痛んでいるのはダブルの負担と損害を受けている国民一般。あまつさえ銀行とつるんでいる政府は、盗人猛々しくも、「銀行がこけては国民全体に累が及ぶ」とおどす。脅されると、あるいはそうかなと思ふのが大衆かもしれないが、気のいい大衆もいるもので、そんな政府が支持されているように見える不思議。

「生き馬の目を抜く」

実際には、こければ必ず代わりが立ち上がるのが銭儲けの世界。それが外資であれ内資であれ、必ずしも国民一般の利便などを第一に考えないのが資本の論理なのは誰でも知っ

ている。隙あらば生き馬の目だつて抜き盗むのが業界というところだろう。そして、これが最も肝要なことだろうが、大衆と云うか、一般国民の消費つまりお財布を当てにして全ての経済活動が企まれているという事実。それでも官が主か?

「バブルの亡霊?」

ライブドアの敵対的日本放送株買い占め、最近では村上ファンドの阪神タイガース、楽天のTBS支配願望など、要は若い経営者が株の売り買いでの勝ち組として札束で古参企業のほつたをはたき、金儲けしか眼中に無いのに、自らの行為を改革的と自賛し、それがもてはやされている。なんかバブル景気時代の蜃気楼を見ているみたいだ。

政府が小市民へあてつける「自己責任」論は、大手企業、あるいは行政機関には当てはまらないこの不思議。

「もつける為でも」

言わずと知れた「コンビニ」は、夜も寝ないで庶民の日常生活に必要な物品を、薄利多売しようという商売である。消費者一般と直に向き合い、利用者のどんな時間帯の都合にも合わせますよ、という思想だ。

むろん商売だからしたたかな戦略はあるが、結果的に多くの人々の利便を図りつつ、自分たちも儲ける。

「誰かのため」というおためごかしはないが、店員の愛想もいいし、親切。安い品を買いくる客が、きちんと客として扱われるし、時間の制限も無い。

公共料金をどこで払っても同じなら、「コンビニ」に客が流れるのは当然のことだろう。

「問題点を見つけよう」

「民で出来ることは民で」というのは小泉構造改革路線のキヤッチフレーズだが、逆に「民で出来ること」が、なぜ官でできないか」と切り返さなくては真の改革には至らないのではなからうか?

このたび上島町も「行政改革推進委員会委員」を公募し、6名の応募があったと聞く。募集人員は2名なので抽選となつたそうだが、少なくとも応募する気力の持ち主が6名いたことを素直に喜ぶべきだ。できればそういう人物をこそ全員採用して行革を推進してほしいくらいだ。

えらばれた委員におかれては「やればできる」を会意として、他町のしるべとなるようがんばっていただきたいものである。



写真説明：県道弓削—岩城線開通に向け弓削地区と生名地区の県道拡幅工事が進んでいる。弓削・土生地区の拡幅工事風景。

## eメール往来

From: ASD@ybb.ne.jp  
Date: 2005年10月9日 23:35:00:JST  
To: 平山和昭 <yugeru@gold.ocn.ne.jp>  
Subject: ホームページ拝見

こんばんわ。ネットネーム：海を愛する者、です。ネットサーフィンしていて弓削通信のHPを見つけました。「弓削通信言いたい放題」というところに山口県の樫野川のことが載っていました。懐かしい気になりました。じつは昔、近くに住んでいたことがあるのです。当時は相応にキレイな川、きれいな街といった印象でしたが最近では老舗温泉旅館（山口といえば湯田温泉）も経営が危ういなどという噂もあり、川までもこんな感じになっていたのか、という印象です。あのころは、河口だけでなく、その上流でも自然豊かで、水辺にはたくさんの野鳥がいて、市内の河川敷では四季おりおりの行事などもでき、本当に生活の一部でした。

そんな樫野川が自然環境の悪化に伴い再生プロジェクトをしているとHPで拝見し、ショックでした。「自然再生推進法」なるものが2005年春より成立し、それに基づき再生プロジェクトに着手しているとあるのを見て、少し安心しました。

ちなみに、環境省のHPでこの法律の実施状況（実施中のプロジェクト）を見てみると、5月時点で佐賀県と大阪の2例でした。それ以降は情報がアップデートされていないのか?、この山口県の樫野川の件は3例目?、いづれにしても、せっかくの法律、活用しない手はありませんね( \_ )

この法律、仕組み図を見ると、やる気のある行政なりNPOなりの働きかけが最初に必要で、また、こういった活動に要する資金のことが明確に謳われていないのも残念です。助成金など、ある程度のガイドラインがあれば、もっと活動にも熱が入るうに。

数年前に瀬戸内海を旅したことがあります。最初に小豆島を皮切りに南下していったのですが、有名な小豆島よりも、南下し無名な島々のほうが、実は海はきれいでした。

このHP、なかなか面白い記事がたくさんありました。またちよくちよく覗かせてもらいます。ではでは。

### 「上島おもしろ交流クラブ」ご案内

時：毎月第3水曜日、午後7時～9時  
 場所：せとうち交流館体験交流室  
 毎回会員が話題を持ち寄って話し合います。話題はいろいろあります。通りすがりにでもお立ち寄りください。



ミニミニ講演会も計画しています。  
 問い合わせ・連絡先 0897-77-2760 座長(竹林)  
 77-3072 又は 050-3378-0988(ip電話)(平山)

### 「弓削通信」投稿募集のご案内



「弓削通信」では読者からの投稿募集をしています。800字。Eメールでの投稿でもOKです。メールアドレスは本紙上部欄外に記してあります。町内外のことに関する話題、提言、本紙への感想など。情報発信もどうぞ。(照会のため発信者の氏名は明記おねがいします)

(因島映画サークル) 知ったかぶりセミナー

### 映画「惑星ソラリス」

11月19日(土) 10時30分～

因島市立図書館・視聴覚室 TEL 0845-22-8660

\*\*\*\*\*  
 11月16日は16日です  
 \*\*\*\*\*



05/09/19(月) 敬老の日 晴 三重町小坂  
 ニコニコ診療所の真近に石堤で囲った荒れ放題の庭園がある。入り口が閉鎖されているので中を垣間見たことも無かった。ところが石堤のマンジュシャゲ(ヒガンバナ)が文字通り一挙に咲き乱れた。深紅色のマツに眼を奪われ、やがて園内に散開する同色の花の群れに視線を向けるとその奥に立派な構えの門があり、「見門」の札が掛けられている。家屋は見当たらない。余程の酔狂人が築いた離れ庭園に相違ない。何分にもこの門、遙か彼方の「婿橋山」に面しているのである。眩しいほどの朝日が射し込んでいる。好い写真家などの思い込みから写真葉書にして郵送しよう!と決めた。

ニコニコ銘水苑 菅井健二

### 安田祥子 童謡コンサート

▼とき 11月29日(火)18時～(17時30分開場)  
 ▼ところ 市民会館大ホール  
 ▼入場券 【大人】前売り2500円 当日3000円 【子ども】前売り1500円 当日2000円  
 ▼問合せ先 生涯学習課 22-6565



(広報いんのしまより)

## 教育環境に関する論議を早く始めよう

十月三十一日、「生名・へき地教員宿舎」新築工事の安全祈願祭が、建設予定地にてありました。旧村時代に予定されていた案件ですが、新町になって教職員の利便性を高めるため、旧村時代は現在地での立て替えだった案を変更し、生名小学校脇の敷地に建設します。

木造2階建て。瓦葺き3棟。内訳・小学校二戸、中学校八戸。施行・四国通建(株)。約一億四〇〇万円。平成一八年二月末完成予定。

席上、発注者挨拶で町長は、「教育は上島町の最重要施策」との認識を示しました。これは当然のこととして、しかしながら、これからの上島町の教育行政をどういう形で進めて行くのかは、実はまだ殆ど議論がはじまっていません。



わば事務的に消化されている状況です。それらの中にはただ「合併して一つの町になった」だから行政サービス均一化を、という命題に沿って進められる施策もあり、先を見越した場合、経済基盤の弱い自治体にとってはなかなかしんどいものもあるはず。異なる個性を有している複数の自治体が合併する場合、うんと突っ込んだ議論が合併協議会でされた後の合併が理想ですが、合併そのものを急ぐあまりと、合併協議会委員の問題意識のありようから、多くのテーマが合併後の行政に先送りされました。

これからの町づくり計画は町総合計画策定委員会等に委ねられるわけですが、すでに小さな集まりが実施されているにもかかわらず、その問題提起や議論が一向に町民に見えてこない。これはおかしいし、それに対して何も感じないなら町民一般の問題意識も一大事な状況と言わざるを得ないのではないかと。

教育に関しては、学校の統廃合問題を避けて通れない。いかに早く口火を切るかが大切だと考えます。

中学校で複数のクラブ活動すら維持できないほど生徒数が少ないなら、給食問題よりも、施設の整備よりも先に、将来を見据えた対策を、早く決める必要があります。子弟の教育環境に関して、親も行政も、どういう方針で臨むのかを、とことん議論し、今後に向けて仕切りの足場を固める作業です。

町長も議員も選挙というものがあつた。進んで波風を立てたくない心理も働いてしょう。だからといって問題提起を先送りすべきではない。

われわれが何をし、あるいはしなかつたかで、常に影響を背負うのは、他ならぬ大事な子どもたちだからです。

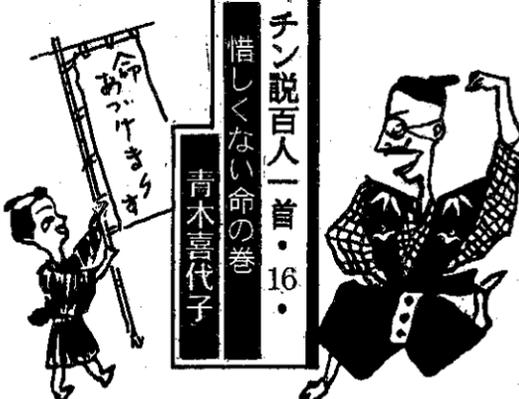
(ご意見お寄せください)

町長も議員も選挙というものがあつた。進んで波風を立てたくない心理も働いてしょう。だからといって問題提起を先送りすべきではない。

われわれが何をし、あるいはしなかつたかで、常に影響を背負うのは、他ならぬ大事な子どもたちだからです。

(ご意見お寄せください)

上島町芸能発表会は弓削、魚島、生名のを見学しました。毎年感じる事ですが、この地区にも芸達者が多い。が、高齢化も。どんな芸能でも長い修練が要り、それを乗り越えての発表。だから見るよりも演じる方が楽しいにちがいない。他地区との交流発表が盛んになれば、新しいサークル誕生も期待出来る。そういう文化祭になればいいと思う。「弓削通信」創刊から十四年。次回でやつと百号を迎えます。よたよたと、山の神との二人三脚で。(和)



チン説百人一首・16・  
 惜しくない命の巻  
 青木喜代子

君がため惜しからざりし命さへ長くもがなと思ひけるかな  
 プロポーズの言葉を覚えていますか?  
 忘れたふりしているあなた。事有る毎に、黄門さまの印籠のように、ひらひらさせているあなた。今思い出しても背筋のぞつとするようなことを何故言ったのか、一生の不覚と、後悔しているあなた。

「貴女のことばが全力をかけて一生お守りしますとおっしゃってくださいました」  
 何年か前、あるキャリアウーマンがうつむいて言っていた。それを見て私は、日本一の旧家に嫁ごうとしている人が人前で言う事ではなからうと驚いた。



昔のプレイボーイは表題のような激しい恋の歌を、ちよとした挨拶代わりに、そこかしこの姫に贈ったのだろうか。姫たちも慣れたもので軽く聞き流していたのだろうか。

私だったらこんな強烈な歌を耳元でささやからたら、「口ツとまいつてしまおうだろう。そして、こおどろしながら周りの人に言いふらしてしまおうだろう。」

「貴女のためなら命もおしくない」って言われちゃた!ってね。

# eメール往来

From: ABCD@m2.ocv.ne.jp  
 Date: 2005年11月29日 21:51:34JST  
 To: 平山 和昭 <yugeru@gold.ocn.ne.jp>  
 Subject: コンビニって薄利多売?

弓削通信ありがとうございました。記事の中で気になることがひとつ。弓削には7/11とかローソンとかコンビニがあるのですか?それともコンビニまがいの店?というのは、コンビニの業態の基本思想は「薄利多売」ではありません。薄利多売はいわゆる量販店、スーパーのうたい文句で、コンビニは時間、分量、雑貨の便利さが売り物で、むしろスーパーなどと比べ割高というのが世の常識です。(厚利小売というべきか)例えばコンビニではおにぎり1個115円から買えるのに、スーパーなら夜中は買えないし、4個で1パック320円、でもおにぎり1個あたり80円ですよというのが業態の差のほうです。当然、コンビニは高い分いろいろな意味での便利さが求められます。

## 「弓削通信」 やっとこさ15年・100号

# 改めて「本当の豊かさを求めて」

「弓削通信」は今号で百号となった。ひも解いてみると初号発行は一九九一年(平成3)六月。弓削大橋(弓削・佐島間架橋)の橋脚を立てる工事現場の写真が掲載されていて、発刊の言葉は「本当の豊かさを求めて」。B4判1枚2ページで弓削、佐島、豊島、魚島、高井神島全戸に新聞折り込みで無料配布。話題提供と読者の投稿から成る計画だった。初回テーマは「過疎考」。続いて「教育」「学校給食」と盛り上がった。



第100号

発行者：平山和昭  
 〒794-2509  
 愛媛県越智郡上島町  
 弓削土生318-2  
 TEL・FAX 0897-77-3072

当時はリゾート開発(ゴルフ場)推進に取り組んでいた弓削町行政と、それに反対する地権者、および「弓削町の自然を考える会」の活動で町内は開発賛成、反対、ふたつに割れていた。おかみの推進する事に異論を立て、反対運動を起すことなど絶えて久しくなつたこの地で、町の将来について本気で考える絶好の機会でもあった。

「リゾート開発で弓削町が豊かになり、本当に過疎化から脱却できるのか?」と。筆者は否定の見地から記事を書いてきた。理由は自然破壊だけではない。コンセプトの無い人任せの構想だったから。不況になつても持ちこたえるかも知れぬ独自性すら見あたらなかった。

その後バブル経済の崩壊と、ゴルフ場開発反対地権者の断固たる態度に、旧弓削町での

リゾート開発計画は失速。(凍結と表現された)あわせ、日本国はその後の長い不況下でインフレに突入し、今日に至るまでなのであった。

期せずして百号発刊の年内には、弓削大橋に続く生名橋(佐島・生名島架橋)の設計が仕上がる予定である。上島四島のうち三島が橋で連結される第二歩が踏み出される。

「豊かさ」というものにはいろいろな側面がある。そのどれが正しく、或はそうでないか固定できるものではない。すべからず世の諸相は相対的な関係でしかないからだ。

その視点から、この十数年の時の経過をふまえ、「弓削通信」で提供してきた話題について、それぞれの結果を勘案することは、改めて「本当の豊かさ」について、「過疎」について考えるきっかけになるのではないかと思ったりする。

これからどう?

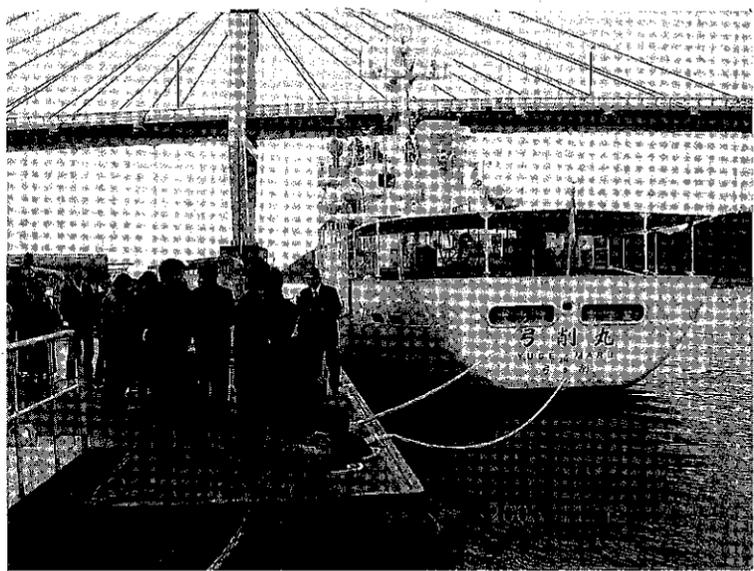
平成の大合併もほぼ一段落した。私たちの町も昨年、魚島村、弓削町、生名村、岩城村が合併し、名を「上島町」と改めた。住所欄に「越智郡上島町」と書き初めるのにもやや慣れた。

一方、われわれの日常生活と切り離せない隣島の因島市は、瀬戸田町と共に来年一月十日、尾道市に吸収される有様で合併する。しばらくは「尾道市因島市」と書き出しては

苦笑いをする人もいることだろう。遠い将来、上島町が、因島がどのような帰結に至るのか知る由もないが、過去を知り今を知り、そして事物を相対的に見る眼があれば、近い将来に決してならぬ、ある程度の予測も不可能ではない。それをしどろむという向きもあるやもしれぬが、それなくしてはまた、この町の進歩も発展もない。

思いはあっても「弓削通信」の来し方をみれば、当初のもくろみは外れた。

### 弓削大橋と練習船弓削丸



本年弓削商船高専の商船祭での練習船弓削丸・弓削丸一周体験航海乗船手続き風景。船名「弓削丸」は、過日物改された書道界の大家 村上三島氏の筆である。元魚島村郵便局長近藤進也氏は、現在今治市上浦にある村上三島記念館長をされておられ、氏にこの事実を教えたかった。

### 「上島おもしろ交流クラブ」ご案内

とき：毎月第3水曜日、午後7時～9時  
 ところ：せとうち交流館体験交流室  
 問合せ先：0897-77-2760(座長・竹林) 77-3072(平山)

毎回会員が話題を持ち寄り話し合います。話題はいろいろあります。通りすがりにでもお立ち寄りください。



12月は21日(水)です。

どうひいき目に見ても「投稿紙」として定着してないし、商業新聞の量からして全戸に届いている筈がない。見ず捨てられる分を考えても、読者は半数を大きく割っているだろう。さらに、話題提供以外にながしかの動きの引き金になつたと思えない。

こつした形で公論を興すことなど無理だったのであろうか?小さな自治体だからこそ可能だと思つたが、小さな自治体だからこそ困難なのかもしれない。

知っているつもりで過去を知らず、今を知らなかった、と言える。人々の、己が意見を公表することへのためらい、単に面倒と思つているだけかもしれない。いずれにしろこの町の人々の大方の考えは、いまだにつかみきれないもの、ということになる。

いつか誰かが引き継いで十四年半もかかつてたつた百号のミニコミ紙発行が、将来どういう芽吹きをするのか。個人のできることはたかがしれている。消長は時の習い。だが、いつかだれかが、と思う。もっとハワフルな展開をしてくれるのではないかと。

源流は常に細流。それでよし。

編集責任発行人・平山和昭

# 夢は 大学のある町づくり

## 「存続」と「支援」

本年の締めくくりとして最近気になった一つのことを記しておきたい。お上手を言えない性格なので、気に触るご仁も出てくるであろう。あらかじめお断りしておきたい。

### 大学のある町づくり

筆者は「大学のある町づくり」を標榜して選挙を戦った。へき地をいわず学生が蟻集する内容の濃い大学があれば町の存在感が増す。幸いこの地に弓削商船高専という歴史ある学校があり、日夜グレードアップに励んでいる。これを核に雪の結晶のように美しく発展出来ないものだろうか、と夢見た。

### 「こういふ」があった

ことし7月、町議会は国会陳情に行き、重要施策の推進に関する陳情書を選挙区選出の衆参国會議員に提出した。その中に県立弓削高等学校並びに独行人弓削商船高専の存続についての項目があった。

県立高校に関しては少子化のありで定員確保がだんだん困難になっている現状から、学校の存続のために関係機関への働きかけを、高専に関しては、いつか統合と言う事態になっても弓削校の存続にむけて特段の働きかけを、という「口」であった。

高専に関しての要望書は、「校風にふさわしい生徒確保のため精一杯の努力はしているが、全体の生徒数は減少傾向にある。本校の存在は上島町の地域振興には欠くことのない大きな活力であり、その存続に格段の配慮を願いたい」というもの。

ところが後日、高専からこの陳情書の「存続」という文言にたいして、現状を正しく伝えていず不本意である旨のクレームが「存続」という文言を「支援」に修正し、要望書も、学校当局と協議のすえ、

(当校は)海運をはじめ各産業界に多大な貢献を果たし上島町の誇りであります。昨年度、当校は独立行政法人となり、本年度専攻科を設置し、自立に向け動き始

議席11番  
上島町議會議員  
平山和昭  
(8)

め、先人が築いてくれたこの榮譽ある伝統を未来に繋ぐとともに教育・研究の向上に努力され、四国地区の高専中最高い志願者倍率となつております。また、当校は上島町の造船業や海運業などの地域産業を支える教育・研究機関としても重要な役割を果たしており、町の地域振興には欠くことのできない大きな活力であり財産であります。当校のさらなる教育・研究の向上のためにご支援を賜りますようお願いいたします。と修正し、国會議員に再提出した。

### 筆者は次のように思う

議員総意のもとに提出した陳情書の文言が、こんなことで後日修正され、議員には事後承諾の形で再提出されたのは頂けない。高専のクレームもピント外れだし、議会の対応も冴えない。とて、すでに後の祭りだ。だから、もし筆者が協議の場に居合わせたらこう思うだろうことを記しておきたい。

はつきり言つてこれでは学校当局の自画自賛の代弁。学校が、言うほどきちんと出来ているなら何も特別な支援は要らないだろう。

協議のなかで、いま存続しているのだから「こういふ」存続を要望するのはおかしいという意見もあつたようだ。屁理屈である。なぜなら先にも書いたように、目線を少しだけ遠くにやれば高専といえども存続の危機にあるのは確かだ。

少子化はあらゆる学校の場において定数確保を困難にする。域内の高専だつて志願者の奪い合いがはじまる。いまそうでなくてもやがてそうなる。定員割れが現実味を帯びてくれば統廃合が話題に上る。いまは県立弓削高専がそうだが、高専だつて例外ではなからう。

最初の陳情書は舌足らずの面はあつたかもしれぬが、議会は町の未来を考え、町民への責務として、「善意の危機感」をもって未永い学校の存続を心から願ひ、側面から応援したのであつて、口出しでもなんでもなし。学校から不本意と言われる筋合いはない。

自画自賛は経営者の保身、あるいは停滞へのシグナルだと受けとれる。

### ビジネス最前線のノウハウ

弓削商船高専の専攻科も他校に比べれば後発。例えば、大前研一の「アタッカーズ・ビジネススクール」のような「起業ノウハウ」の開講とか、学生の身で起業を志せば学校をあげて支援するとか、とにかく俊秀な志願者を全国から引きつける魅力を加えていなくては、この地にこの学校が残れる道は広くはないと私は思う。

### 学校経営に雄大な構想を

弓削商船高専の前身の商船学校は、地域の子弟が世に出て活躍出来るようにと、創立時、貧寒村が村財政の4割を突つ込んで維持しようとした。言わば「実業への志」の権化である。今でも、あくまで実業校。現在の校舎等の拡大に際しても多くの農家が農地を提供して協力した。その事実は十分誇らしい。

「実業」は実力の世界。学校とて同じ。当事者はどこも真似の出来ない雄大な視点で経営をしてみせてほしい。

### 越えがたい垣根

商船学校が「国立校」となつたのは単に先人の気概と熱意と国策がマッチした結果だ。それなのにいつの間にか「国立」と言う妙な自意識が、学校と地域に超えがたい垣根を醸しているように見える。双方が危機感の共有すら出来ないのでは残念というほかはない。

12月定例議会は20日(火)午前9時15分からです

「男たちの大和」上映会  
戦後60年記念作品  
男たちの大和 YAMATO

|          |          |          |          |       |       |
|----------|----------|----------|----------|-------|-------|
| 12月      | 17(土)    | 19(月)    | 21(水)    | 22(木) | 26(月) |
| 1回目      | 2回目      | 3回目      | 4回目      |       |       |
| 開場 9:30  | 開場 12:30 | 開場 15:30 | 開場 18:30 |       |       |
| 開演 10:00 | 開演 13:00 | 開演 16:00 | 開演 19:00 |       |       |
| 終演 12:40 | 終演 15:40 | 終演 18:40 | 終演 21:40 |       |       |

一般 1,800円  
大学・高校生 1,500円  
中・小学生 1,000円  
しまなみ交流館 シェルネ (0848) 25-4073

# わじりりん

中田ちよき (5)



小五の坊 今日(火)は集団下校で帰ったそうなの。集団登校に遅れんように言われたし、明日も集団下校やおと「ダンボール箱に入れられとった子才の話もあつて、ほやけんらしいでえ。」

何か事件があると、とかく集団登下校になる。それでもいつの間にかそれが解消...している。その繰り返し。

もちろん、市町村、学校単位でそれなりに善処をこうしているといふことなのだけれど...

飛行機が墜落するといけけないので、飛行機に乗らない。

脱線事故があるといけけないから電車に乗らない。

交通事故が怖いから車には乗らない。同様に

子どもに何かあるといけけないので、子どもを一人にしない、というところか。

事故と事件を単純に同様視してはいけないのだから、大人の大人だつて自宅で殺されてる。

ほやけん

親子でいたつてどうにもならんもんはならん。子どもを四六時中保護(監視)すること、リスクは減るよに思えても、また違うリスクがどつどつとのかかっている。(にちがいない)

でもまあ死ぬより重いリスクはないよなあ...

だからといって、どこもかしこも防犯カメラを設置すればすむ問題でもない。GSPケータイを持ったからといって安心であるわけでもない。

どこにでもいる「危険人物」と、どこにでもある「危険」。やはりある程度は子どもなりに向き合つていく必要もあるように思うのだが、いつかどうなつてくるかねえ。

犠牲になつてるのは女の子をはじめ女性が多い。加害者はたいして男性だ。そんなこんなを見てみると、加害者が生まれるメカニズムをもっと研究し、それをみんなが知る必要もある。

そこいらに今の社会の歪も見えてくるかな？